

令和7年12月14日  
小方12北

# ステップアップ訓練 個別研修

大竹市  
危機管理課



公開先  
大竹市HP  
防災研修資料

## 本日の予定

## 個別研修

令和7年12月14日(日)13:00—16:00

時間	実施項目	講師
90分	防災基礎講習	大竹市職員
90分	呼びかけ訓練 実施要領相談・指導	自主防災AD 柳迫長三氏

## 次回の予定

## 呼びかけ訓練

令和8年1月24日(土)午後 14:00～16:00 西念寺

時間	実施項目	講師
2時間	避難訓練 又は—情報伝達訓練	大竹市職員 自主防災AD 柳迫長三氏
	訓練振り返り	

# 地域防災タイムライン

ご自身の避難について考えてみましょう！

## 日頃からの備え

### 自宅の災害リスク

▶ ハザードマップ上で自宅周辺に色が塗られている場合は、口に"✓"してください。

☐

土砂災害

☐

洪水

### まずはこれ！ 防災グッズチェックリスト

- |  |  |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 飲料水(1日1人3リットル×3日) | <input type="checkbox"/> 防寒具・アルミブランケット |
| <input type="checkbox"/> 食料(人数×3日)         | <input type="checkbox"/> ガムテープ・軍手(人数分) |
| <input type="checkbox"/> モバイルバッテリー         | <input type="checkbox"/> 靴・スリッパ        |
| <input type="checkbox"/> 携帯ラジオ             | <input type="checkbox"/> 簡易トイレ         |
| <input type="checkbox"/> ホイッスル             | <input type="checkbox"/> 救急セット         |

※ その他グッズ一覧は、右のQRコードを参照⇒



## 情報収集ツール

気象情報  
避難情報の収集

☐

テレビ・ラジ

☐

防災メール

☐

防災行政無

☐

線  
防災アプ  
リ

## 避難のタイミング

避難に支援が  
必要な人

(高齢者、障がいのある方、  
乳幼児、妊婦など)

☐

いる 警戒レベル3 高齢者等避難で避難

☐

いない 警戒レベル4 避難指示で避難

## 避難する場所

- ▶ 避難先は2つ以上確保しておきましょう。
- ▶ 安全な場所にある、親戚・知人宅やホテルなども避難先になります。

と

# 地域防災タイムライン

小方12北

この地域では、大雨が降った際に、



土石流が崩れ



洪水

が発生する危険があります。

災害が起こる可能性が高い時には、

**ご近所で声を掛けあって  
早め早めに避難する  
必要があります。**

▼ここが大事！ 明るいうちに 家族やご近所と声をかけあって避難



特に、高齢者等には警戒レベル3で声かけを

～避難訓練などの際に、この用紙を活用してください～  
避難する際の声掛け先

例) 電話・戸別訪問など

名 前

連絡方法

名 前

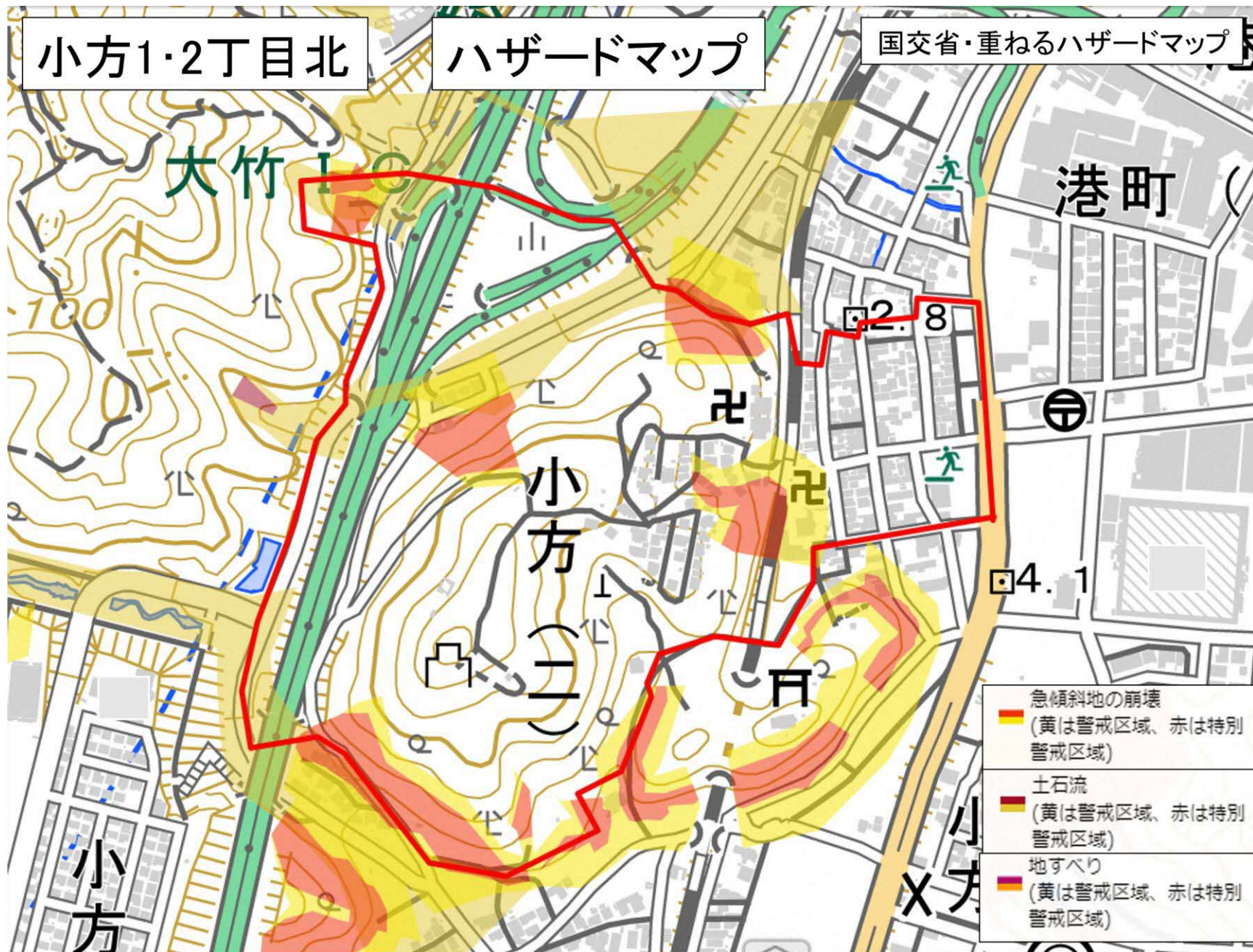
連絡方法



小方1・2丁目北

ハザードマップ

国交省・重ねるハザードマップ



# 他の ハザードマップ



# 小方12北 津波

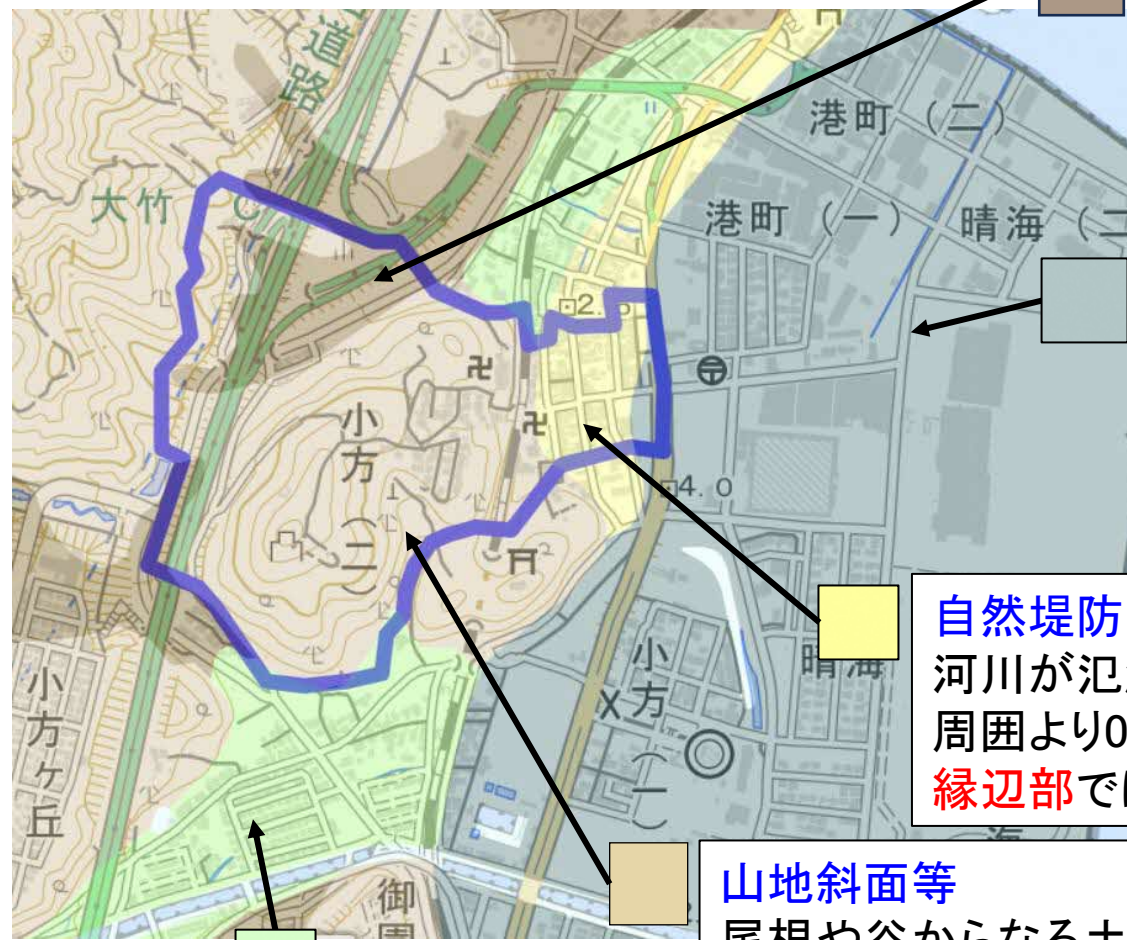


20m~	
10~20m	
5.0~10m	2階の屋根以上 が浸水する
3.0~5.0m	2階部分まで 浸水する程度
0.5~3.0m	1階天井まで 浸水する程度
0.0~0.5m	大人の膝まで つかる程度

三菱ケミカル広島事業所



# 地形分布



## 山麓堆積地形

崖崩れや土石流などの土砂が堆積  
大雨により**土石流**の**リスク**あり

**地盤**は**不安定**

**地震**による**崖崩れ**にも注意

## 旧水部

江戸時代以前は海

現在は**埋立地**となっている場所

**地盤**は**軟弱**

**液状化**リスク大

## 自然堤防

河川が氾濫して土砂が堆積

周囲より0.5～数メートル高い

**縁辺部**では**液状化**リスクあり

## 山地斜面等

尾根や谷からなる土地や比較的傾斜が急な土地

段丘崖の斜面や火山地を含む

**大雨**や**地震**により**崖崩れ**や**土石流**、**地すべり**などの**土砂災害**の**リスク**がある

## 氾濫平野

洪水で運ばれた砂や泥が堆積

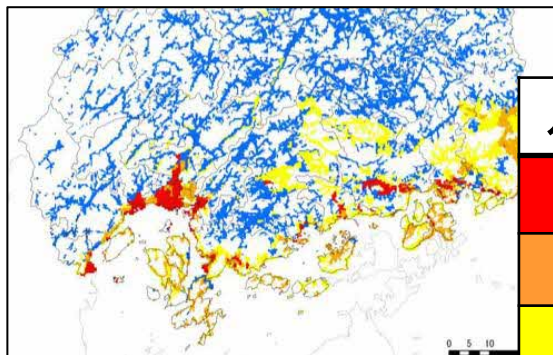
**地盤**は**海岸**に近いほど**軟弱**

地震でやや揺れやすい

**液状化**リスクあり

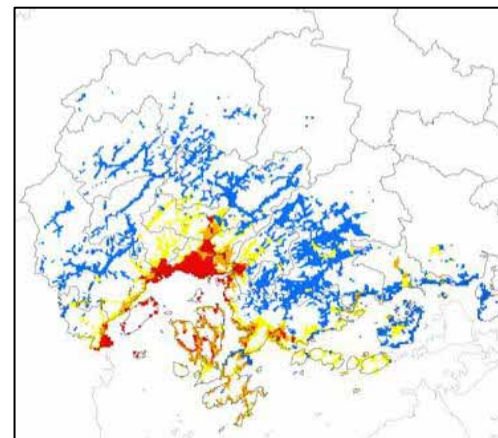


# 液状化危険度

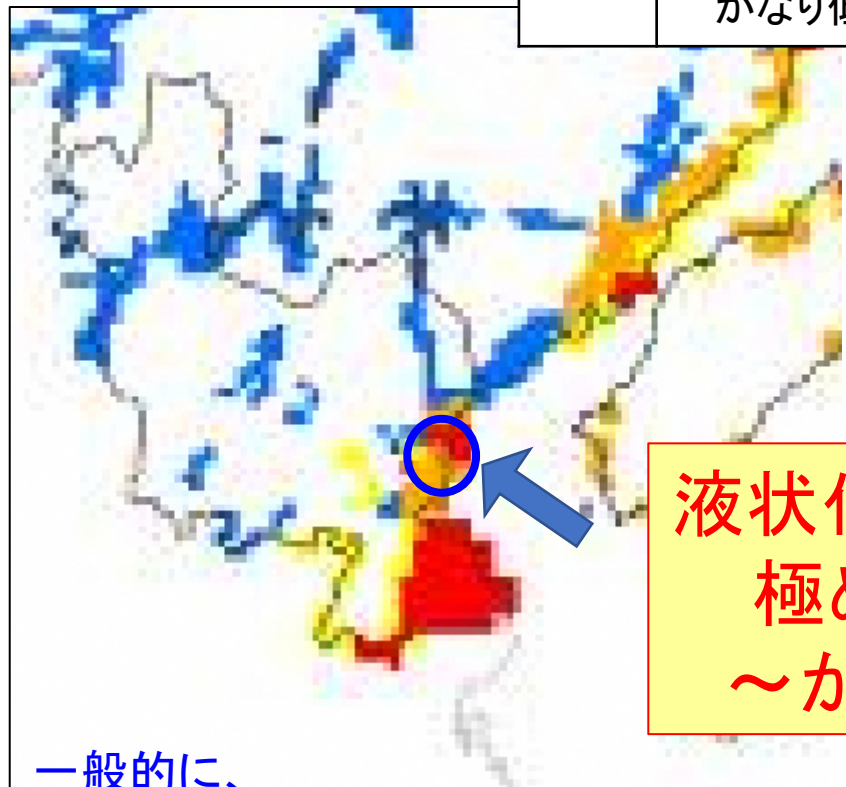


南海トラフの場合

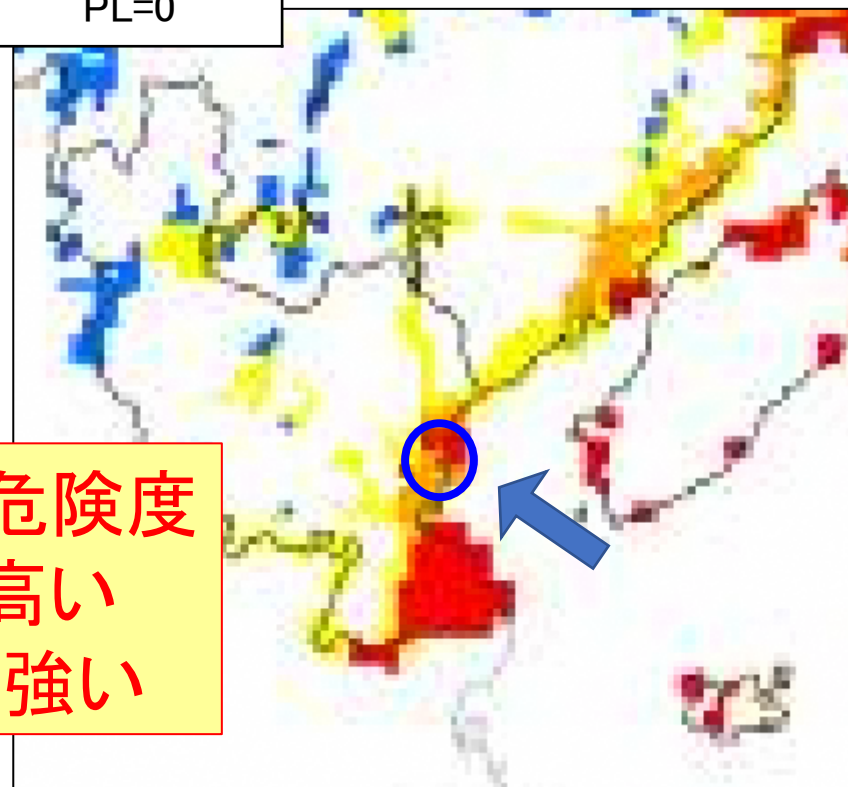
凡例	液状化危険度	PL値
	極めて高い	$30 < PL$
	かなり高い	$15 < PL \leq 30$
	高い	$5 < PL \leq 15$
	低い	$0 < PL \leq 5$
	かなり低い	$PL = 0$



安芸灘断層群の場合



液状化の危険度  
極めて高い  
～かなり強い

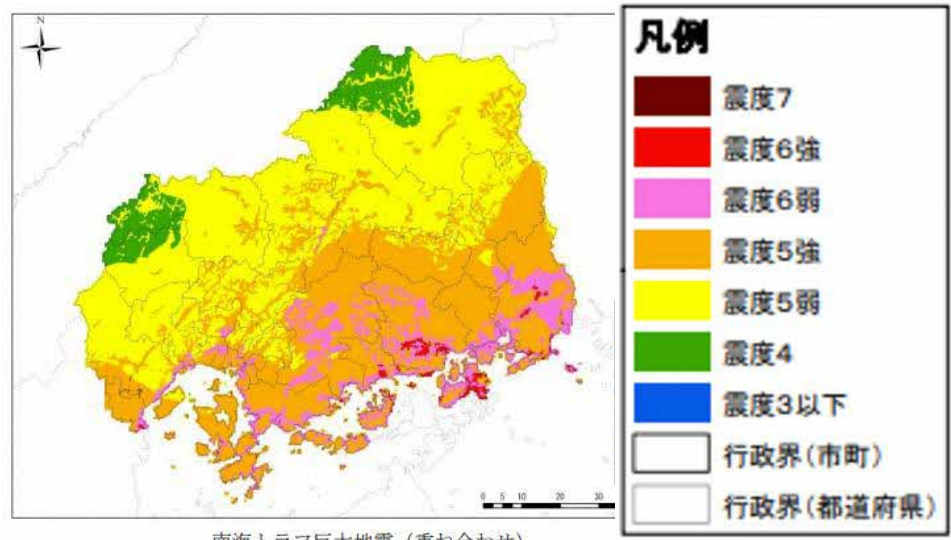


一般的に、  
埋立地の液状化リスク低下＝数十年～数百年後

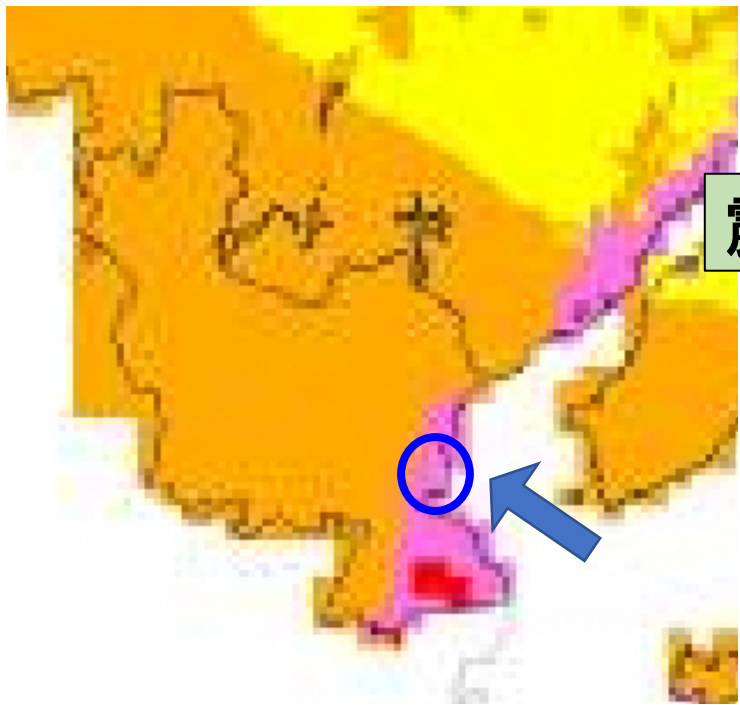
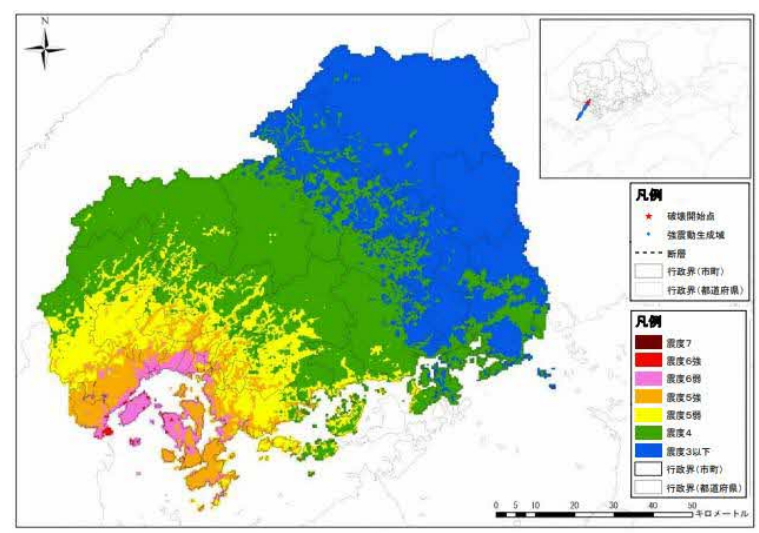


震 度

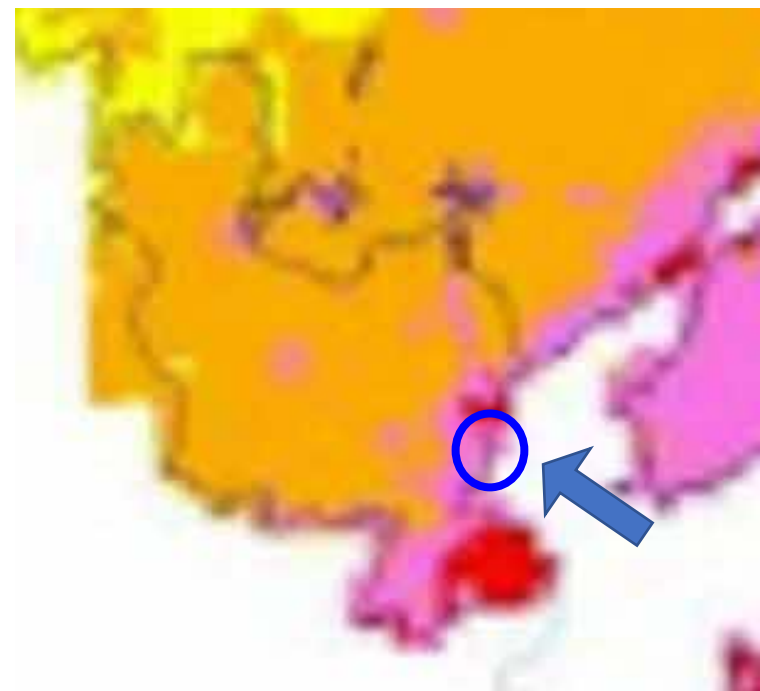
南海トラフ



安芸灘断層群



震度6弱



# 国内の状況

# 風水害

12

## アメダス測定 年間発生回数

1時間降水量  
200mm以上  
1900年 0.7回  
2020年 1.2回

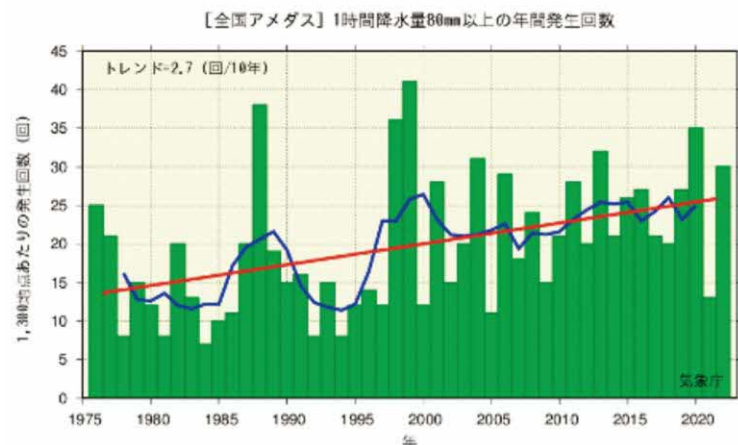
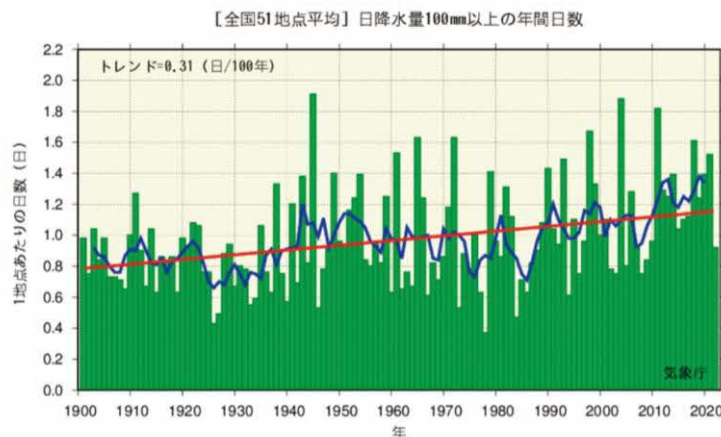
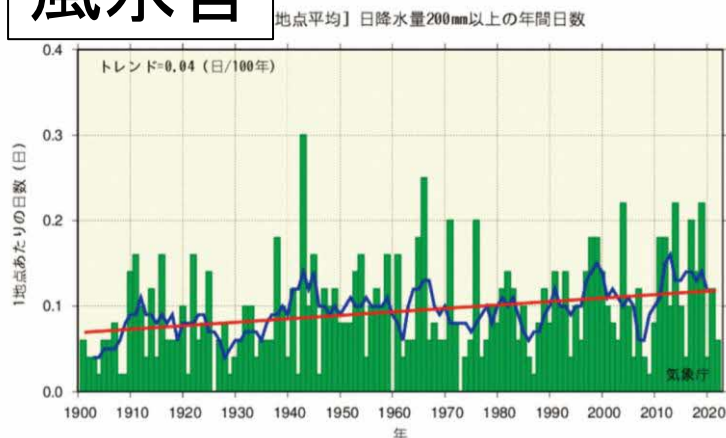
1時間降水量  
100mm以上  
1900年 0.8回  
2020年 1.8回

1時間降水量  
50mm以上  
1975年 14回  
2020年 26回

土砂災害  
発生の可能性

高

防災白書

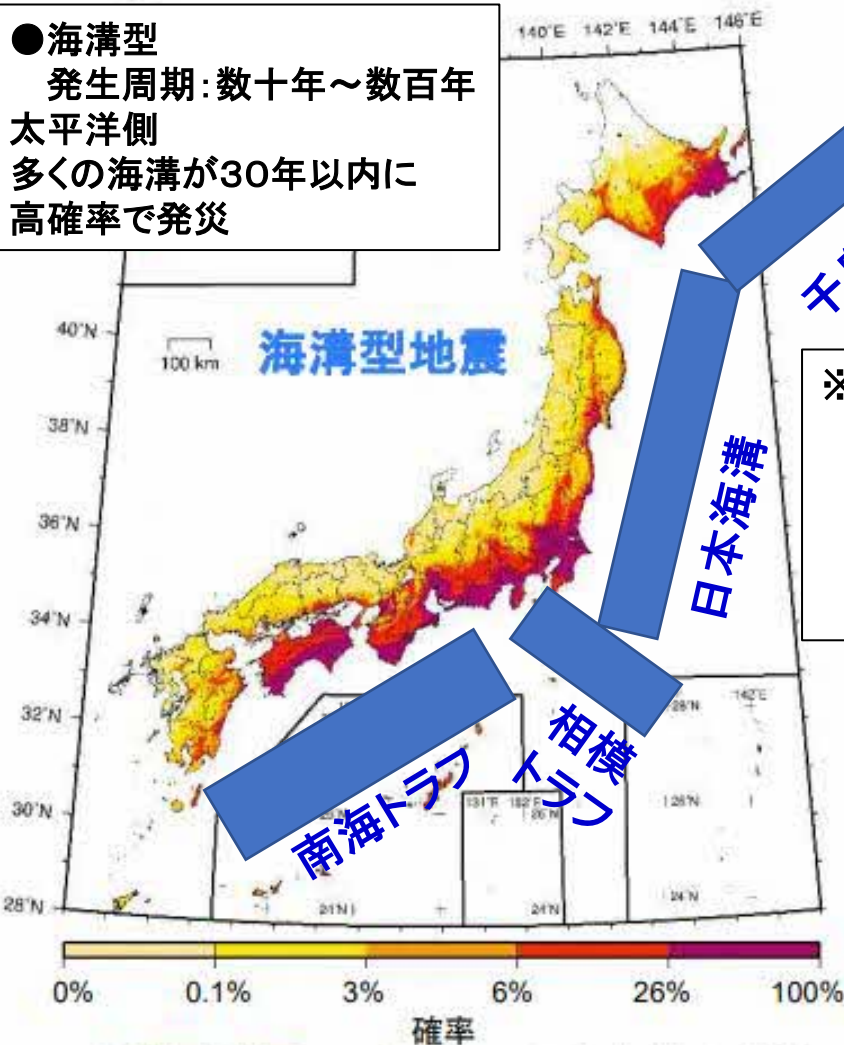




## 2020年から30年以内に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率

### ●海溝型

発生周期: 数十年～数百年  
太平洋側  
多くの海溝が30年以内に  
高確率で発災

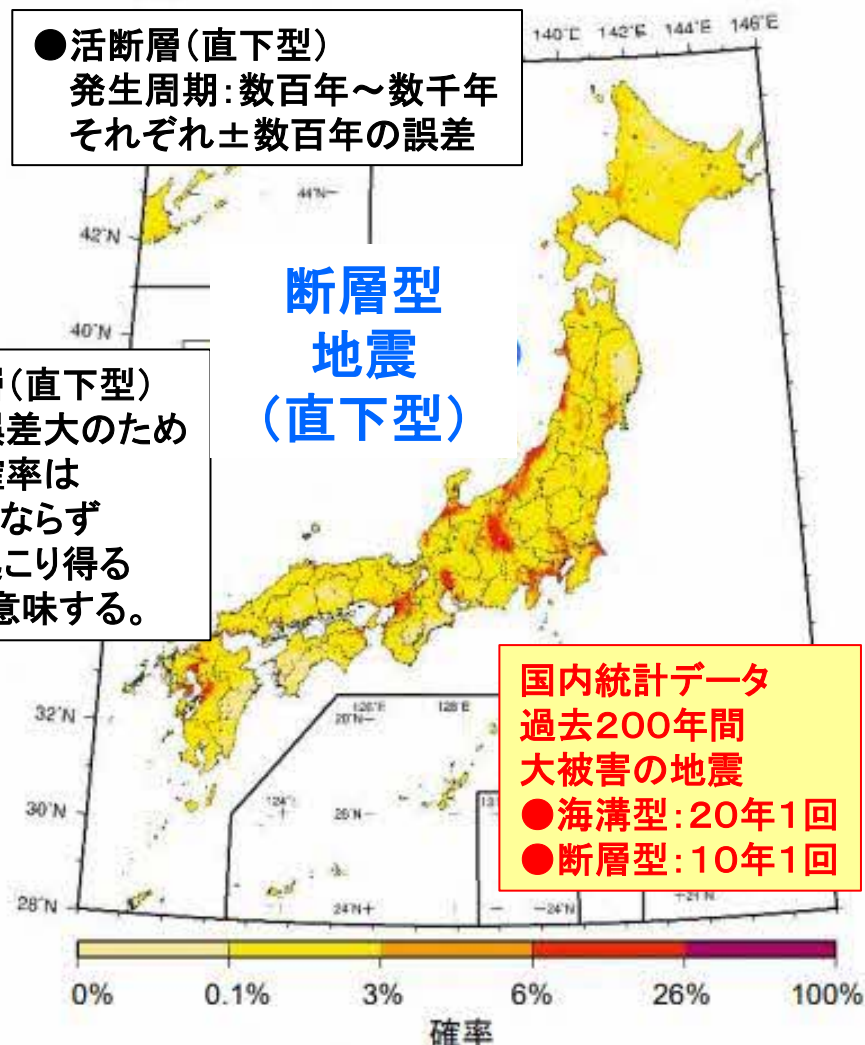


### ●活断層(直下型)

発生周期: 数百年～数千年  
それぞれ±数百年の誤差

※活断層(直下型)  
周期誤差大のため  
発生確率は  
当てにならず  
常に起こり得る  
ことを意味する。

### 断層型 地震 (直下型)



海溝型地震による揺れに見舞われる確率

活断層などの浅い地震による揺れに見舞われる確率

# 大竹 災害の特徴

# 広島県の特徴 土砂災害

- 山地(7割)多数の河川
- 沿岸部
- 島しょ部

多彩な地形 ⇒ 様々な風水害が発生



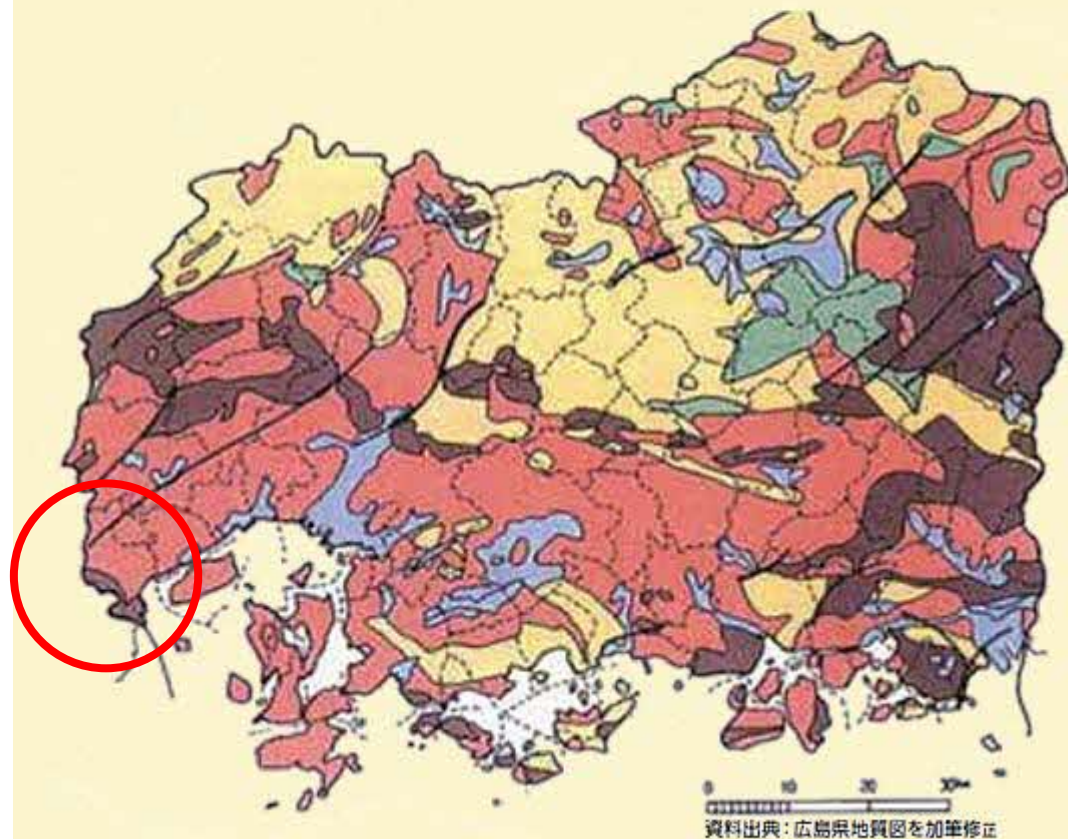


# 広島県の特徴 土砂災害

## 広島県の地質は？

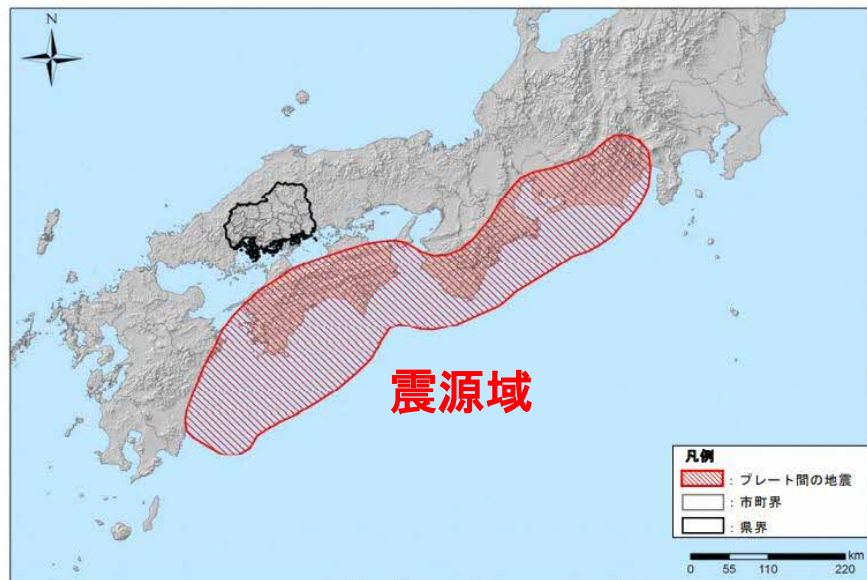
県土の大半は風化・浸食されやすい花こう岩類（マサ土※）が広く分布し、それらを覆って火山岩類が分布しているため、豪雨などによる災害が発生しやすい。

※マサ土とは、水に濡れてしまうと、とても崩れやすくて弱い土です。



赤色：花こう岩（マサ土）  
⇒土砂災害：発生しやすい  
県内に多く分布  
大竹市も同様





図Ⅰ.4.1-1 想定地震位置図（南海トラフ巨大地震）<sup>27</sup>

広島県は震源域の範囲外

広島県 震度:最大7

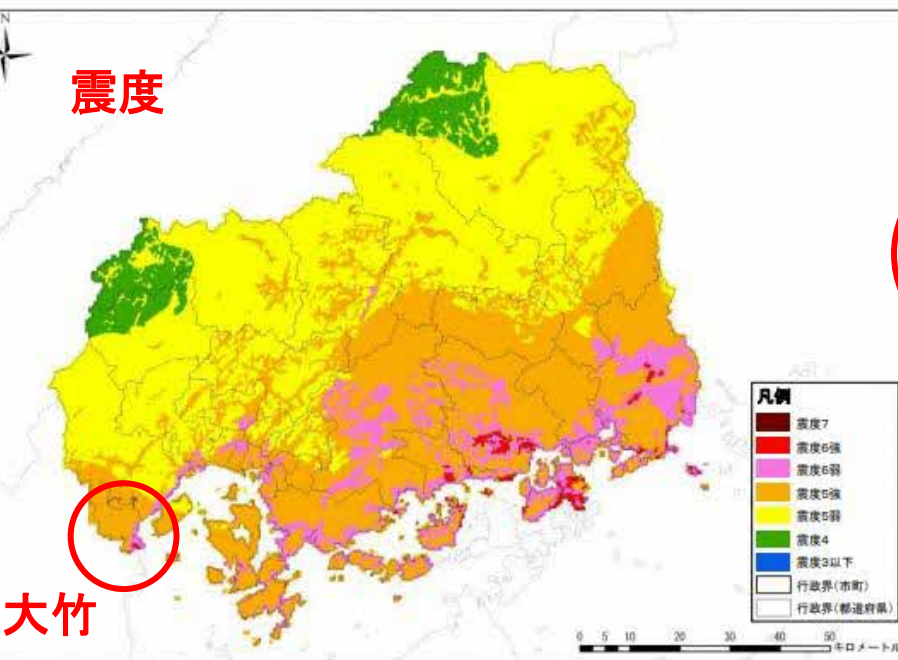
津波:最大3.5m

大竹市 震度:最大6強(6弱)

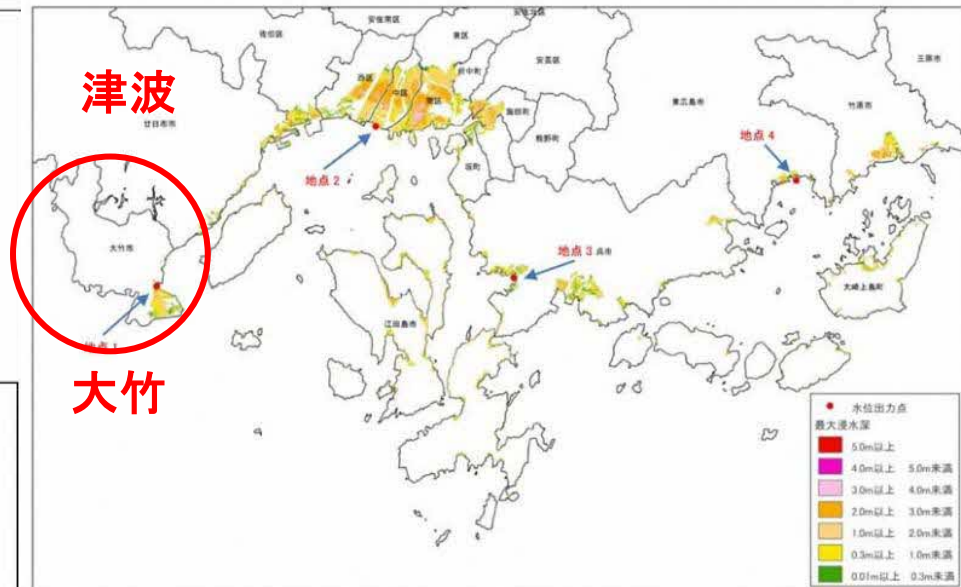
津波 第1波 26分後

最大高3.4m(4m)

約3時間後?



南海トラフ巨大地震（重ね合わせ）

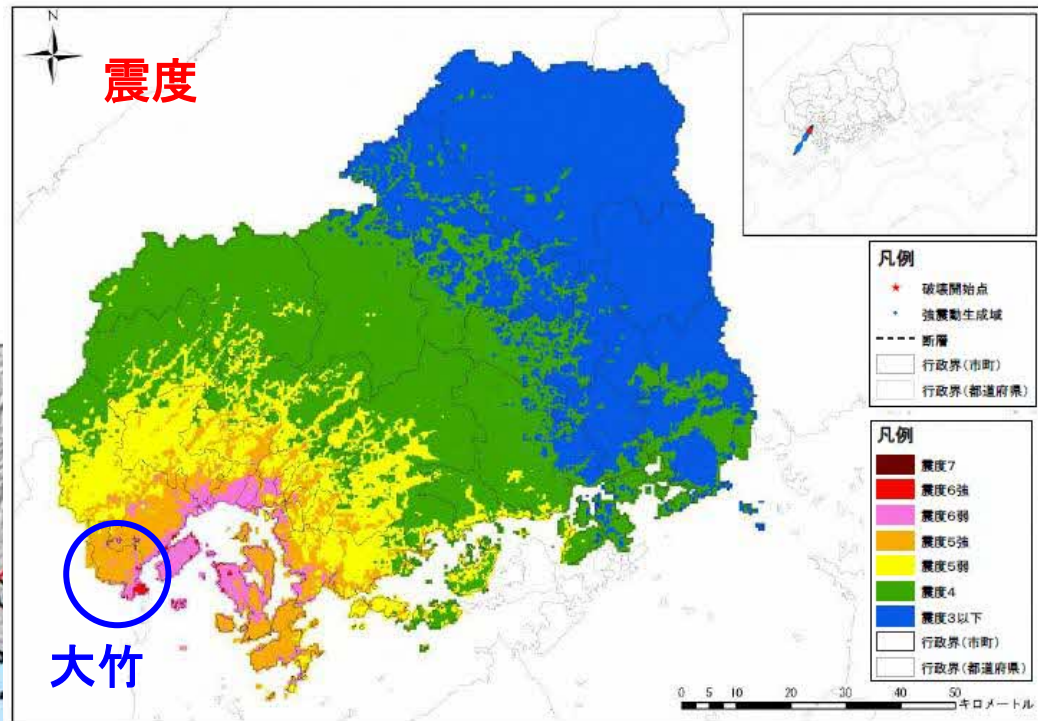


図Ⅲ.1.1-11(1) 水位時系列変化図（西部）

出典:広島県地震被害想定報告書(H25,10)

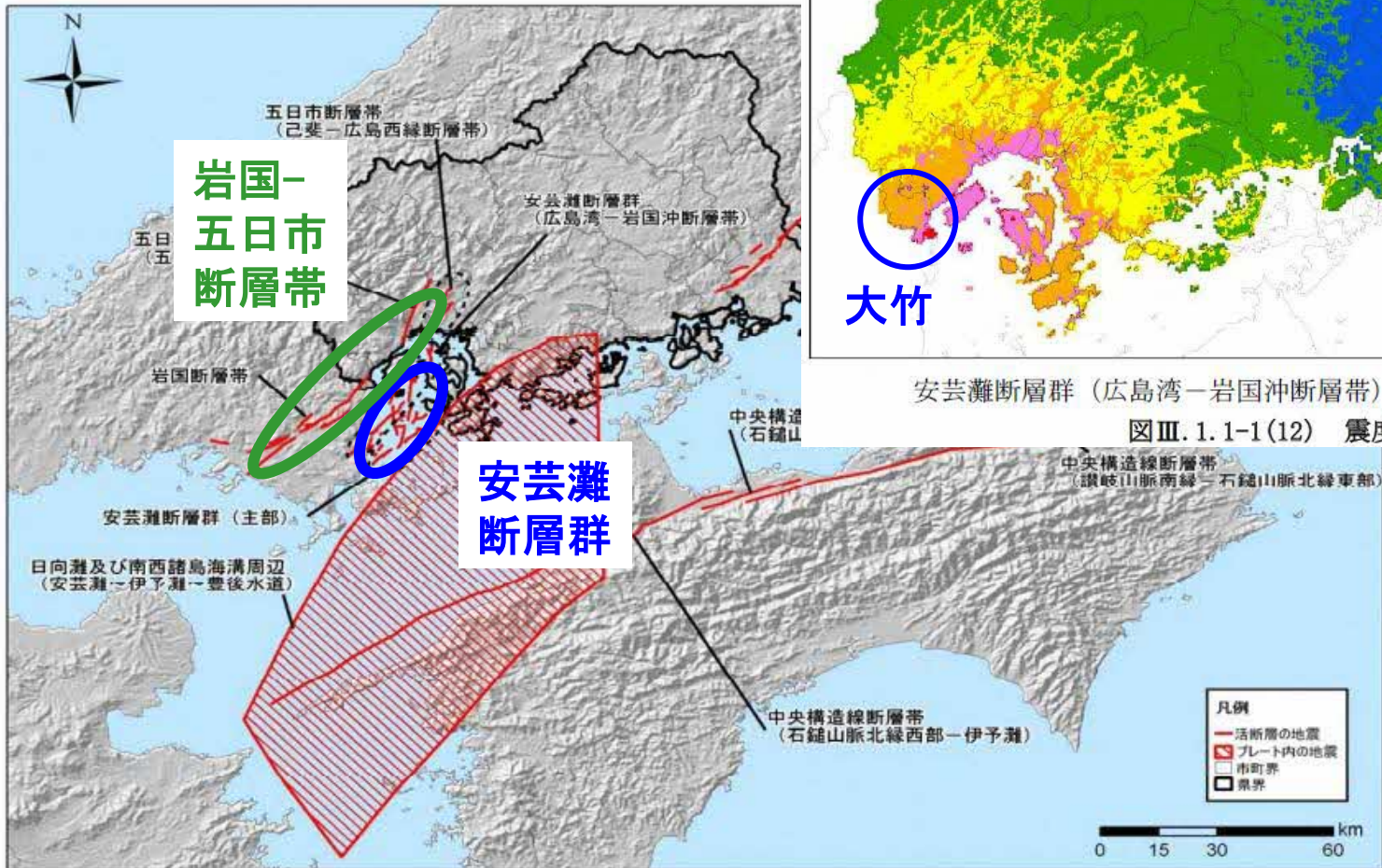


岩国・五日市断層発災時  
震度 広島県:最大6強  
震度 大竹市:6強～5強



安芸灘断層群（広島湾－岩国沖断層帯）の地震（北から破壊）

図Ⅲ. 1. 1-1(12) 震度分布



図Ⅰ. 4. 1-2 想定地震位置図（既に明らかとなっている断層等を震源とする地震）

# 大竹市の特徴 全般



**大竹市全般 (JR線より山側)**  
**大雨・土砂⇒毎年避難指示**

作成: 大竹市危機管理課

災害の種類		特徴	
豪雨	土砂	脆弱性は県内他市町と同等 小規模 山間部通行止⇒毎年発生 避難指示⇒毎年発生 大規模 少ない(運が良かった)	
	洪水	玖島川: 渡ノ瀬ダム調整力小 増水⇒避難指示⇒毎年発生 R4年: 緊急安全確保(広島初) 小瀬川: 弥栄ダム 調整力大⇒下流安全性高 能力不能時⇒大洪水発生	
台風	土砂 洪水	豪雨に同じ	
	暴風	地形上: 被害少(四国がブロック)	
	高潮	満潮時と最接近が同時・台風中心が大竹の西を北上する場合 ⇒玖波海岸・高潮発生通行止	
地震	南海トラフ (海溝型)	地震動	震度5強～6強
		津波	最大3.4m(堤防崩壊の場合)
	安芸灘 断層群 五日市-岩 国断層帯 (断層型)	地震動	震度5強～6強
		津波	不明(可能性あり)

# 大竹の防災意識



広島県  
土砂・洪水  
頻繁に発生

年月	要因	災害種別			主な被災地	被害の概要
		土砂	洪水	高水		
S20. 9	枕崎台風	●	●		呉市 旧大野町 他	死者・行方不明者2,012名、 家屋全壊2,127戸、半壊3,375戸 他
S26.10	ルース台風	●	●	●	大竹市 旧佐伯郡 他	死者・行方不明者166名、 家屋全壊716戸、半壊1,267戸 他
S42. 7	豪雨	●	●		呉市 他	死者・行方不明者159名、 家屋全壊514戸、半壊605戸 他
S47. 7	豪雨	●	●		三次市 庄原市 他	死者・行方不明者39名、 家屋全壊349戸、半壊2,171戸 他
S63. 7	豪雨	●	●		旧加計町 他	死者・行方不明者15名、 家屋全壊38戸、半壊20戸 他
H 3. 9	台風19号	●	●	●	呉市 旧宮島町 他	死者6名、 家屋全壊50戸、半壊442戸 他
H11. 6	豪雨	●	●		広島市 呉市 他	死者32名、 家屋全壊154戸、半壊101戸 他
H11. 9	台風18号	●		●	広島市 呉市 他	死者5名、 家屋全壊2戸、半壊7戸 他
H16. 9	台風18号	●	●	●	広島市 廿日市市 他	死者5名、 家屋全壊27戸、半壊204戸 他
H18. 9	台風13号	●	●		安芸高田市 北広島町 他	死者・行方不明者2名、 家屋全壊4戸、半壊6戸 他
H22. 7	豪雨	●	●		庄原市 世羅町 他	死者5名、 家屋全壊19戸、半壊35戸 他
H26. 8	豪雨	●	●		広島市	死者77名、 家屋全壊179戸、半壊217戸 他
H30. 7	豪雨	●	●		県内全域	死者149名・行方不明者5名 (R2.2.10時点) 家屋全壊1,162戸、半壊3,628戸 他

大竹市被害

大竹市  
70年以上  
大規模災害  
の経験なし



正常性バイアス

思い込み  
「今回も大丈夫だ」



防災上の弱点

# 大竹市民が陥りやすい2つの傾向

## 楽天的

### 正常性バイアス

危険な状況でも「自分は大丈夫」

「今まで何ともなかった」



⇒「今度も大丈夫だろう」  
と思い込む

### 風水害（洪水・土砂災害）

× 結局、何もしない



## 悲観的

### 悲観バイアス

ニュースで悪い出来事ばかり報道  
されると過度に不安を感じてしまう。

⇒「ただ怖い」

パニックになる



### 地震・津波（南海トラフ）

× 結局、何もしない

正しい知識を得て

○ 正しく恐れ

○ 正しく備えましょう

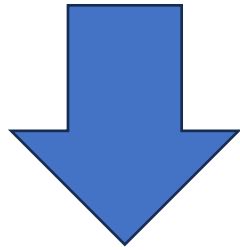
# 大竹市の実状に即した指導上の工夫

## 市民の意識(現状)

風水害<地震・津波

特に平野部で顕著

広島県は全国で最も土砂災害の多い県だが



(大竹で)風水害重視では  
市民の意識が失速しかねない

## 取り組み上の工夫

風水害＝地震・津波

自主性を重視

⇒活動の持続化

両者を対等化  
包括的に実施

# 防災のあり方

# 時代の変化

むかし  
**昔**

ひと いのち  
**人の命は**  
ぎょうせい  
**行政が**  
まも  
**守る**

2011年

ひがしにほんだいしんさい

**東日本大震災**

2016年

くもと じしん

**熊本地震**

2018年

にしひほん ごう

**西日本豪雨**

もはや

かた

このやり方では  
ひと まも  
人を守れない

・自主防  
・防災リーダー  
の強化

いま  
**今**

じぶん いのち

**自分の命は**

じぶん まも

**自分で守る**

じぶん  
**自分で**  
じょうほう あつ  
**情報を集め**  
かんが  
**考え**  
こうどう  
**行動する**

じ じょ  
**自助**



きょう じょ  
**共助**



こう じょ  
**公助**



じゅうみん たす あ  
**住民の助け合い**

ぎょうせい くに けん しちょう  
**行政 = 国・県・市町**

せいふはつぴょう こくみん ことば  
**2018年12月 政府発表 <国民へむけた言葉>**

中央防災会議(30年7月豪雨災害・避難に関するワーキンググループ)報告書より

ぎょうせい ひとり じょうきょう おう ひなんじょうほう だ ふかのう しぜん  
**「行政が一人ひとりの状況に応じた避難情報を出すことは不可能です。自然**  
きょうい まじか せ ぎょうせい ひとり たす い  
**の脅威が間近に迫っているとき、行政が一人ひとりを助けに行くことはできま**  
ぎょうせい ばんのう みな いのち ぎょうせい ゆだ  
**せん。行政は万能ではありません。皆さんの命を行政に委ねないでください。」**

# 大竹市の取り組み方針

自分の命は  
自分で守る

自分で  
情報を集め  
考え  
行動する



大竹市の  
防災教育は  
この方法を  
具体的に解説



災害の  
自分事化

とにかく自分の頭で考える!!

# 大竹市の取り組み方針

## 自主防災組織の強化

呼びかけ体制

・・・広島県全市町が参加中



ステップアップ訓練

・・・大竹市独自の実施方法

- 参加は希望のみ
- 3段階を準備  
相談→研修→訓練
- 参加組織の実情に応じ  
個別に内容を調整
- 広島県：土砂・洪水のみ  
大竹市：＋地震・津波を追加

# 避難情報



令和3年5月20日から

ひなんしじ

警戒レベル

4

避難指示で必ず避難

ひなんかんこく

避難勧告は廃止です

警戒レベル	新たな避難情報等	これまでの避難情報等
5	 <p>せんせゆうあんぜんかくほ 緊急安全確保※1</p>	<p>災害発生情報 (発生を確認したときに発令)</p>
4	 <p>ひなんしじ 避難指示※2</p>	<p>・避難指示(緊急) ・避難勧告</p>
3	 <p>こうれいしゃとうひなん 高齢者等避難※3</p>	<p>避難準備・ 高齢者等避難開始</p>
2	 <p>大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)</p>	<p>大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)</p>
1	 <p>早期注意情報 (気象庁)</p>	<p>早期注意情報 (気象庁)</p>

※1 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。

※2 避難指示は、これまでの避難勧告のタイミングで発令されることになります。

※3

①警戒レベル1～2

気象庁の発表情報に基づき  
自動的に設定・発令  
(市町は発表しない)

⑤ 警戒レベル5 緊急安全確保  
逃げ遅れた人の緊急手段

④ 警戒レベル4 避難指示  
避難すべき場所にいる人全員  
避難を完了

③ 警戒レベル3 高齢者等避難  
高齢者とは、避難に時間を要  
する人全て(ご高齢の方・障害  
のある方・乳幼児・)

② 警戒レベル3～5  
総合判断に基づき  
各市町が独自に決定・発令

## 避難情報

## 警戒レベルと防災気象情報

## 警戒レベル

## 防災気象情報

出典：内閣府避難情報に関するガイドライン  
(令和3年5月改定、令和4年9月更新)

警戒レベル	状況	住民が取るべき行動	行動を促す情報(避難情報等)
5	災害発生又は切迫	命の危険 直ちに安全確保！	緊急安全確保 (必ず安全されるものではない)

<警戒レベル4までに必ず避難！>

4	災害のおそれ高い	危険な場所から 全員避難	避難指示 (従来の避難勧告の タイミングで発令)
3	災害のおそれあり	危険な場所から 高齢者等は避難※	高齢者等避難
2	気象状況悪化	自らの避難行動を 確認する	洪水、大雨、 高潮注意報
1	今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを 高める	早期注意情報

※高齢者等以外の人も、必要に応じ、普段の行動を見合わせたり自主的に避難

市町村は、警戒レベル相当情報の他、暴風や日没の時刻、堤防や樋門等の施設に関する情報なども参考に、総合的に避難指示等の発令を判断する

警戒レベル相当情報	住民が自ら行動をとる際の判断に参考となる防災気象情報				
	洪水等に関する情報			土砂災害に関する情報	高潮に関する情報
	水位情報がある場合 (下段：国管理河川の洪水の危険度分布※1)	水位情報がない場合 (下段：洪水警報の危険度分布)	内水氾濫に関する情報		
5相当	氾濫発生情報 (危険度分布：黒) (氾濫している可能性)	大雨特別警報 (浸水害)※2		大雨特別警報 (土砂災害)	高潮氾濫発生情報※3
4相当	氾濫危険情報 (危険度分布：紫) (氾濫危険水位超過相当)	危険度分布：うす紫 (非常に危険)※4	内水氾濫危険情報 (水位周知下水道において発表される情報)	土砂災害警戒情報 危険度分布：うす紫 (非常に危険)※4	高潮特別警報※5 高潮警報※5
3相当	氾濫警戒情報 (危険度分布：赤) (避難判断水位超過相当)	洪水警報 危険度分布：赤 (警戒)		大雨警報(土砂災害) 危険度分布：赤 (警戒)	高潮警報に切り替える可能性に言及する高潮注意報
2相当	氾濫注意情報 (危険度分布：黄) (氾濫注意水位超過)	危険度分布：黄 (注意)		危険度分布：黄 (注意)	
1相当					

上段太字：危険性が高まるなど、特定の条件となった際に発表される情報（市町村に対し関係機関からプッシュ型で提供される情報）  
下段細字：常時、地図上での色表示などにより状況が提供されている情報（市町村が自ら確認する必要がある情報）

- ① 左：警戒レベル○ ≠ 右：防災気象情報(警戒レベル○相当)
- ② 大雨警報(土砂災害) ⇒ 記載あり(警戒レベル3が発令される場合がある)  
大雨警報(浸水害) ⇒ 記載なし(警戒レベルは発令されない)  
テレビでは、どちらも「大雨警報」としか報道されていない！

# 避難行動のあり方

避難とは、

『あぶないところ』を『避』けること

あんぜん

ばしょ

ひと

○ 安全な場所にいる人は

ひなん

ばしょ

い

ひつよう

避難場所に行く必要はありません。

かくにん

(⇒ ハザードマップで自分の家を確認しよう)

しやくしょ

してい

ひなん

ばしょ

○ 市役所が指定した避難場所に

ひなん

行くことだけが避難ではありません。

(⇒

ぶんさんひなん

分散避難

とよびます。)

# 避難行動のあり方

## 分散避難

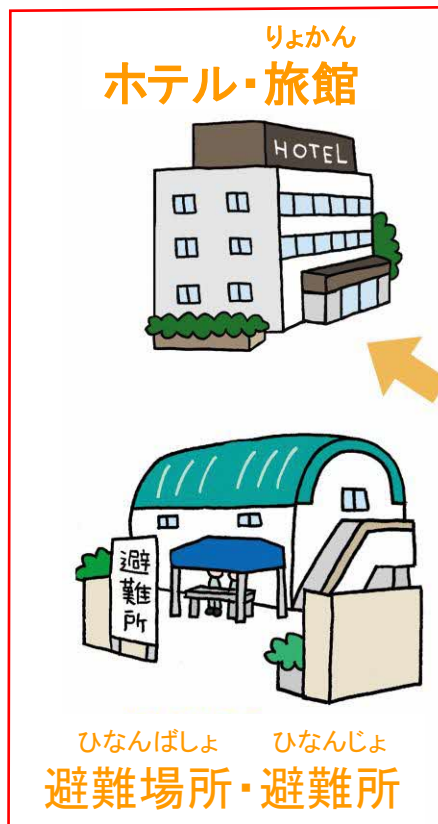
ざいたくひなん

### 在宅避難

おくないあんぜんかくほ  
(屋内安全確保)

すいちよくひなん

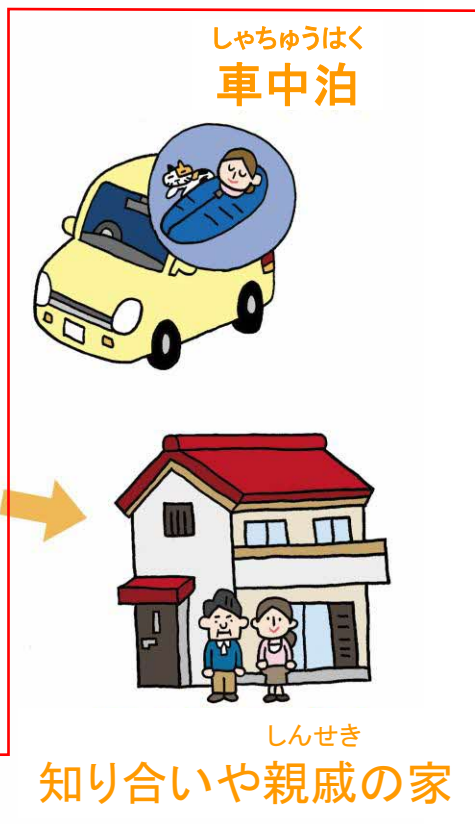
2階へ行く: 垂直避難



たちのきひなん

すいへいひなん

### 立退避難 (水平避難)



じたく

あんぜん

○自宅が安全なら、

ざいたく ひなん

⇒「在宅避難」

に

ひつよう

外に逃げる必要はありません。

たちのき ひなん

⇒「立退避難」



# 在宅避難の特徴

令和7年2月20日 追加  
作成 大竹市危機管理課

## 良い点：自宅で生活できる。

- ⇒ 小さなお子さんや高齢者が生活しやすくなります。
- ⇒ ペットとともに生活できます。
- ⇒ 「火事場泥棒」から財産を守れます。
- ⇒ 避難先に備蓄品を運搬する手間が不要です。

## 条件

現在、大手メーカーの新築は  
戸建・賃貸とも、2000年基準分類3

### ○ 強い耐震基準の家

2000年基準分類3など、強い耐震能力の家に住む

### ○ 津波・土砂

自宅を破壊する津波や土砂災害の恐れのない場所

### ○ 備蓄の確保

電気・ガス・水道の停止に備えた十分な備蓄

# 安全な場所とは

じしん  
地震



がんじょう

頑丈な家・建物



つなみ  
津波



来ないところ  
高いところ

こうずい  
洪水



ハザードマップで  
色のついてない  
ところ

洪水が来ても  
家にいられる場合

どしゃ  
土砂



ハザードマップで  
色のついてないところ

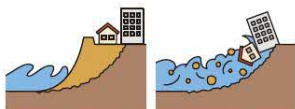


「3つの条件」が確認できれば浸水の危険があっても自宅に留まり安全を確保することも可能です

- ① 家屋倒壊等氾濫想定区域に入っていない  
(入っていると…)



流速が速いため、  
木造家屋は倒壊する  
おそれがあります



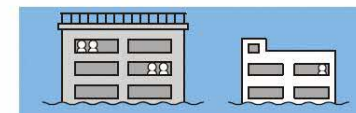
地面が削られ家屋は  
建物ごと崩落する  
おそれがあります

- ② 浸水深より居室は高い

3・4階	5m～10m未満 (3階床上浸水～4階軒下浸水)
2階	3m～5m未満 (2階床上～軒下浸水)
1階	0.5m～3m未満 (1階床上～軒下浸水)
1階床下	0.5m未満 (1階床下浸水)

- ③ 水がひくまで我慢でき、  
水・食糧などの備えが十分  
(十分じゃないと…)

水、食糧、薬等の確保が困難になる  
ほか、電気、ガス、水道、トイレ等の  
使用ができなくなるおそれがあります




## 地震対策

	地震が来る前にすること	備 考
旧耐震基準の家	外に逃げる	緊急地震速報で地震発生を知る
新耐震基準の家	建物内で安全確保	



# 建物の耐震基準

耐震基準	耐震性	補 足
旧耐震基準 1980年以前	<ul style="list-style-type: none"> <li>・震度5:倒壊しない</li> <li>・震度5以上:規定なし</li> </ul> 	
新耐震基準 1981.6.1改正	<ul style="list-style-type: none"> <li>・震度5:損傷が少ない</li> <li>・震度7:崩壊・倒壊しない</li> </ul> <p>余震など2度目の震度7には耐えられない場合がある</p>	
2000年基準 2000.6.1改正	<b>等級1</b> 数百年に一度の地震で倒壊、崩壊等しない 数十年に一度の地震で損傷しない	1995阪神淡路大震災の教訓を受け新耐震基準を強化したもの <ul style="list-style-type: none"> <li>・不同沈下防止(地盤に合わせた基礎の作成)</li> <li>・接合部の固定</li> <li>・耐力壁の均等化</li> </ul>
	<b>等級2</b> 等級1の1.25倍の地震に耐える	
	<b>等級3</b> 等級1の1.5倍の地震に耐える	

2026年熊本地震における益城町(震度7が2回発生)における状況

	倒壊した建物の割合
旧耐震基準	28.2%
新耐震基準	8.7%
2000年基準	2.2%

国交省住宅局調査結果抜粋

「熊本地震における建築物被害の原因  
分析を行う委員会」報告書のポイント

<https://www.mlit.go.jp/common/001155087.pdf>

# 耐震基準の確認方法

手 段	確認方法		
建築確認通知書 又は 建築確認済証	建築 確認日	～1981年5月31日	旧耐震基準
		1981年6月1日～	新耐震基準
		2000年6月1日～	2000年基準
住宅性能評価書	耐震性評価結果による		
耐震診断	診断結果による		

建築確認日：設計図の審査日 ⇒ その後建築  
半年後：完成・引渡し

第三号様式（第二条、第三条関係）

確認通知書（建築物） サンプル

確認番号 第 平成 年 月 号  
確認年月日

建築主 殿

建築主事 印

第三条関係） サンプル

建築基準法第6条第1項の規定による  
確認済証

第 平成 年 月 日

建築主 印

# 大竹市周辺の活断層



国土地理院  
電子国土web  
土地の成り立ち  
全国の主要活断層図

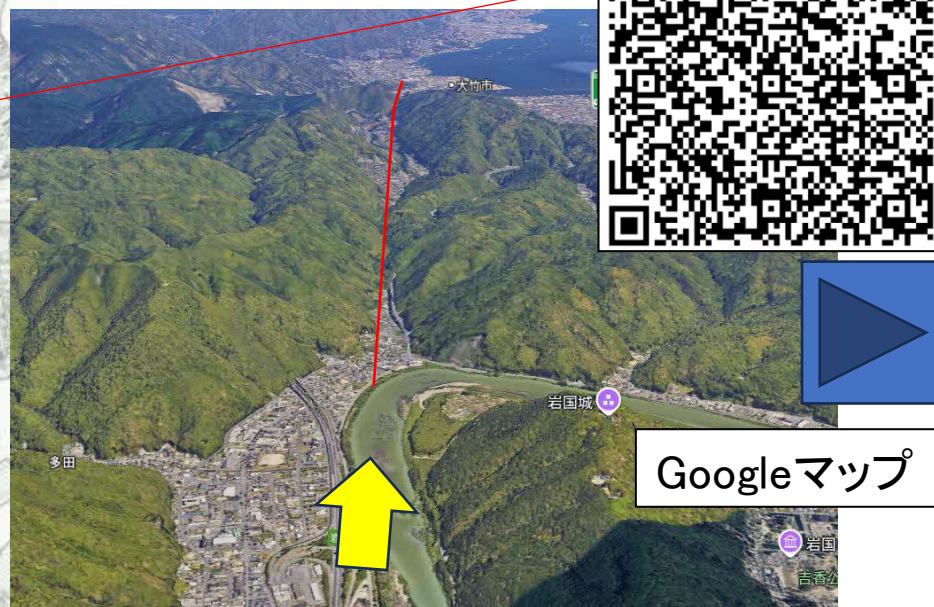
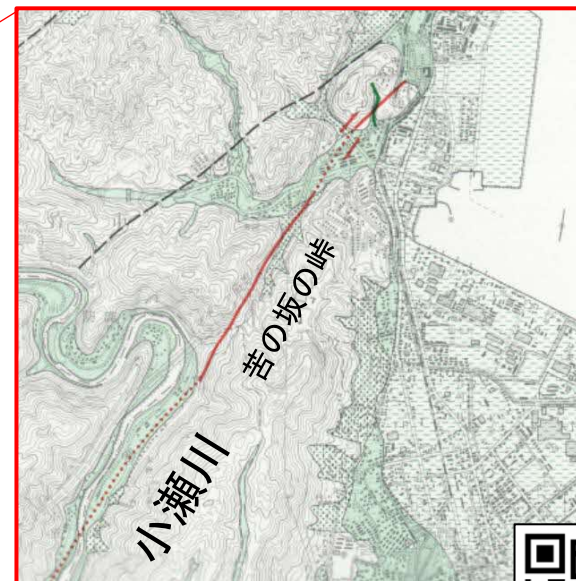




# 大竹市周辺の活断層



国土地理院  
電子国土web  
土地の成り立ち  
活断層図(都市圏活断層図)



Googleマップ

岩国IC

錦川

岩国城



# ハザードマップ 津波（つなみ）

つなみ しんすい そうてい くいき

つなみ く

## 津波浸水想定区域（津波が来るところ）

つなみ よそう あ

津波の予想は当たりません。  
ハザードマップを信じないでください。

じっさい き  
実際は来てみないとわかりません。

しかし見えてからでは遅いので

うみ ちか へいやぶ  
○海に近い平野部

おお かわ しゅうへん  
○大きな川の周辺は

つなみ く  
津波が来るつもりで

たか に  
○高いところへ逃げてください。

たてもの ひなん  
建物への避難では、

よる はい  
×夜は入れないかもしれません。

つなみ たか に ば  
×津波が高いと逃げ場がなくなります。

### 津波の速度

陸上 36km/h（オリンピック100m走の速度）

河川 55km/h（国道2号線の車の速度）

令和7年2月20日 追加  
作成 大竹市危機管理課



津波は  
川から来る

凡例		41
	20m ~	
	10m ~ 20m	
	5m ~ 10m	
	3m ~ 5m	
	0.5m ~ 3m	
	0.5m ~ 1m	
	~ 0.5m	
	~ 0.3m	

木造家屋  
1.5mで全壊  
自家用車  
50cmで流出  
人間  
20cmで流出

逃げる  
方向

出典：国交省国土地理院  
（重ねるハザードマップ）

スマホで確認





①

# 家屋倒壊等氾濫想定区域

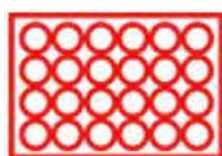
出典：国交省国土地理院  
(重ねるハザードマップ)

## 家屋倒壊等氾濫想定区域

河岸浸食



氾濫流



家屋の流失・倒壊の恐れ

大竹市内：小瀬川・弥栄ダム下流のみ設定  
家屋の流出・倒壊⇒× 屋内安全確保  
○ 立退き避難

スマホで確認⇒





## ② 浸水深（洪水）

20m～

43

10～20m

5.0～10m 2階の屋根以上が浸水する

3.0～5.0m 2階部分まで浸水する程度

0.5～3.0m 1階天井まで浸水する程度

0.0～0.5m 大人の膝までつかる程度



みまん  
3m未満  
かい ひなん  
2階に避難できる



かいじょう  
3～4階以上  
たてもの  
の建物がない



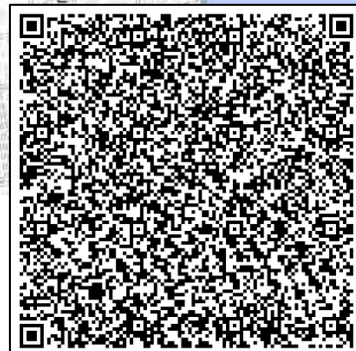
へいやぶ ひなん  
平野部に避難

しんすいしん  
浸水深よりも高い部屋が  
ざいたく ひなん かろう  
ある家：在宅避難が可能

たちのき ひなん ひつよう  
ない家：立退避難が必要

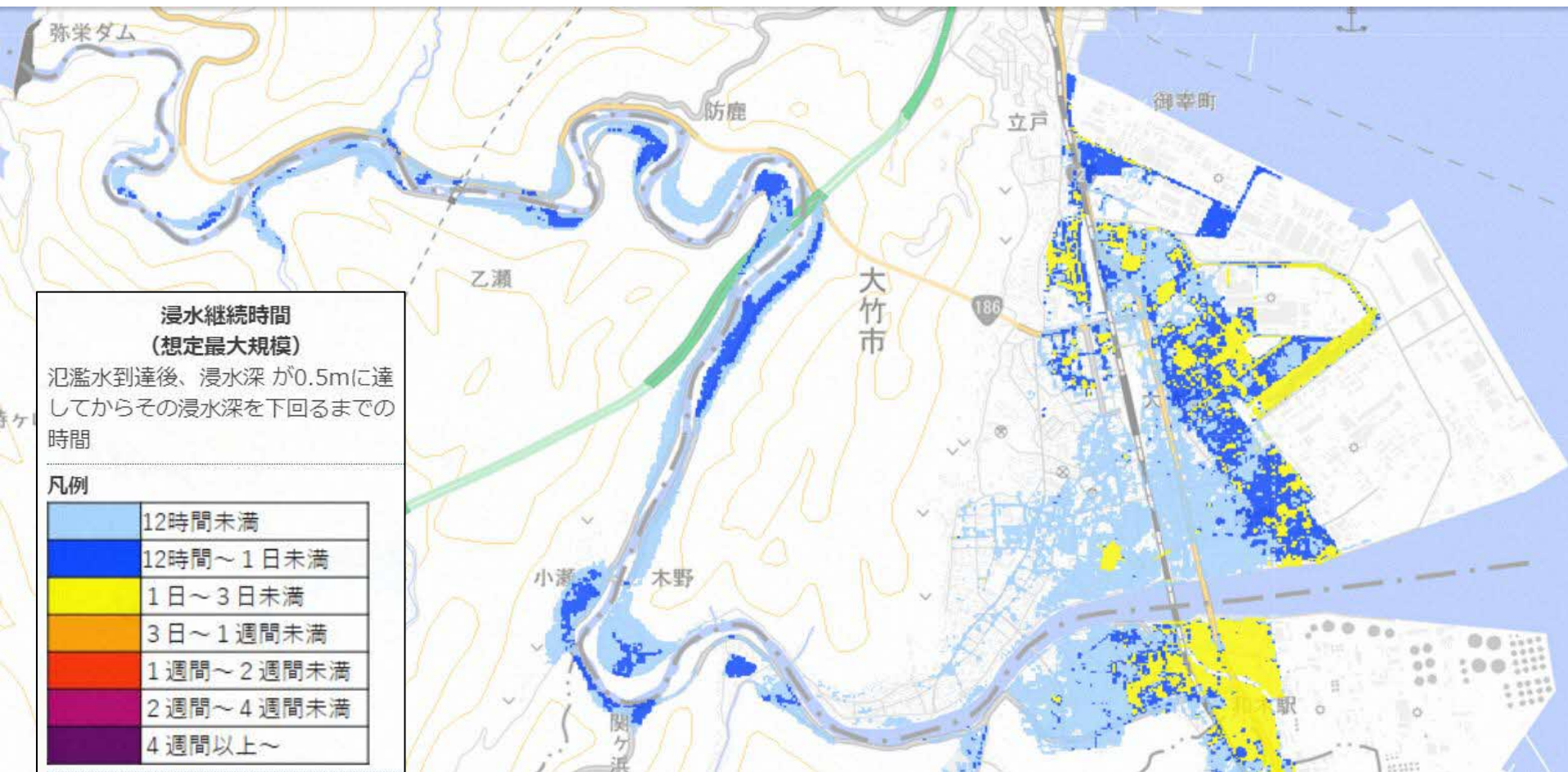
出典：国交省国土地理院  
（重ねるハザードマップ）

スマホで確認⇒





## ③ 浸水継続時間

出典:国交省国土地理院  
(重ねるハザードマップ)

大竹市内一部: 1日以上(黄色区域)

屋内安全確保: 浸水継続時間以上の備蓄品が必要

スマホで確認⇒

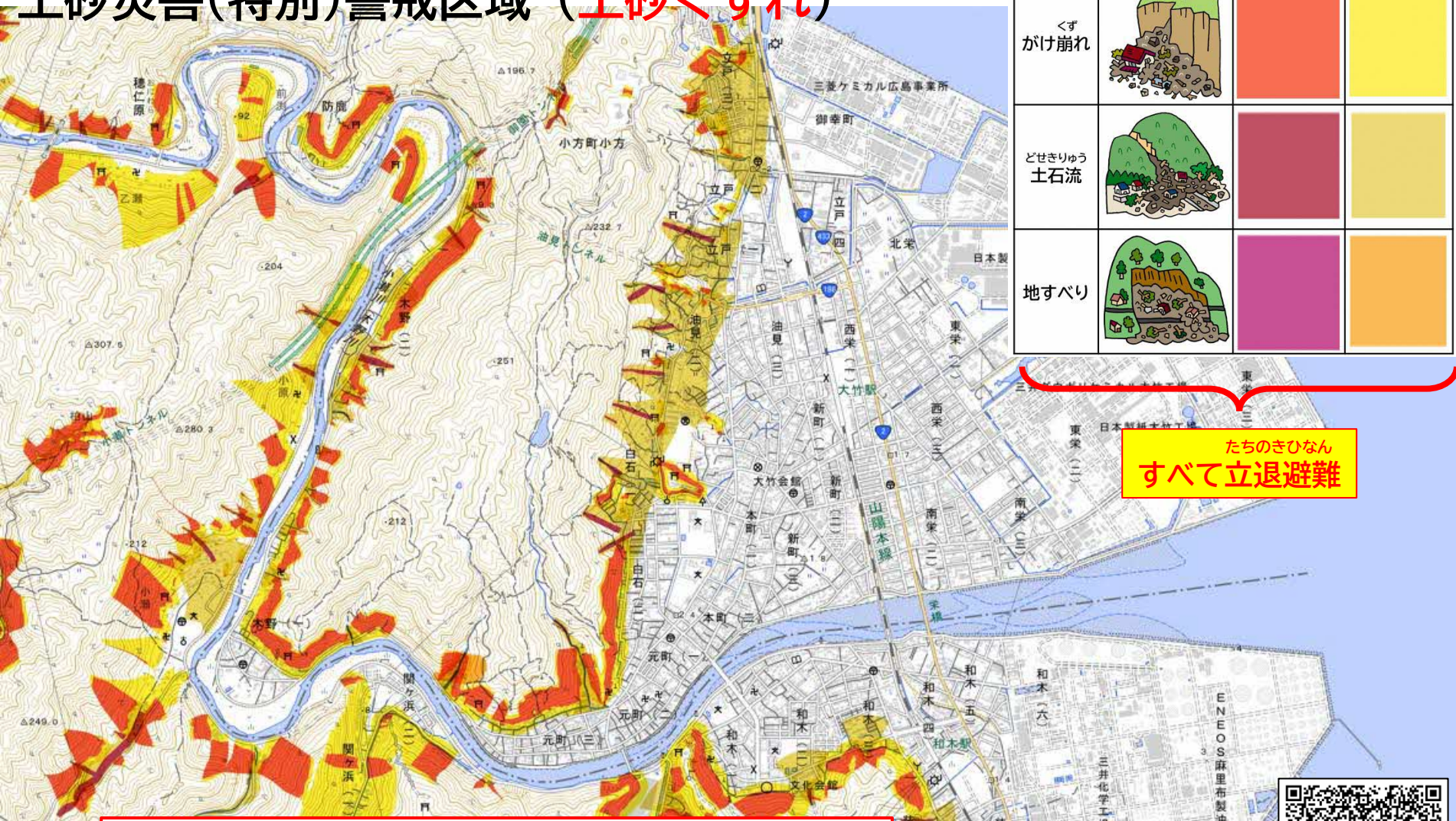




# ハザードマップ 土砂 (どしゃ)

どしゃ    さいがい    (とくべつ)    けいかい    くいき    どしゃ

## 土砂災害(特別)警戒区域 (土砂くずれ)



区 分	イメージ	(レッド) とくべつ 特別 けいかい 警戒区域	(イエロ) くいき 警戒区域
くず がけ崩れ			
どせきりゅう 土石流			
地すべり			

たちのきひなん  
すべて立退避難

きけん    たてもの    はかい    おそ  
**危険: 建物ごと破壊される恐れがある**  
いどう    たちのきひなん  
**色のついてない場所への移動が必要 ⇒ 立退避難**

出典: 国交省国土地理院  
(重ねるハザードマップ)  
スマホで確認⇒



備蓄

# ライフライン復旧までの日数(web情報からの抽出)

復旧日数: 9割以上(概ね)復旧までの日数

令和7年4月11日 更新  
作成 大竹市危機管理課

区分	災害		復旧日数			
	年	名称	電気	水道	LPガス	都市ガス
地震 震度7	1995	阪神淡路 大震災	1週間	3ヶ月		3ヶ月
	2011	東日本 大震災	1週間	4ヶ月	1ヶ月	2ヶ月
	2016	熊本地震	1週間	1週間	自動遮断 のみ発生 供給途絶なし	2週間
	2018	北海道 胆振地震	2日	3日	被害なし	
風水害	2018	平成30年 7月豪雨 (西日本豪雨)	1週間	3週間	5日	

大竹市 ガス:LP⇒復旧早い(マイコンメータの復旧必要)  
水道:(地震)液状化現象⇒大規模断水の可能性





# 備蓄目標日数

従来 最低3日 できれば1週間  
今後 最低1週間 目標2週間が望ましい

行政が準備できる備蓄品には限界があります。

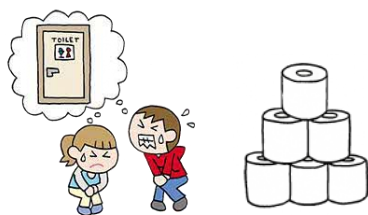
自分の命を自分で守るために、**備蓄品は、自分で用意**しましょう。

令和7年4月11日 更新  
作成 大竹市危機管理課

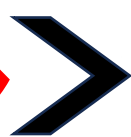
目標日数	従来の考え方	大規模災害	広範囲に影響する大規模災害
災害	局地的な災害	阪神淡路大震災 東日本大震災・熊本地震 平成30年7月豪雨 五日市岩国断層帯地震 安芸灘断層群地震 南海トラフ巨大地震 (半割れの場合)	令和6年能登半島地震 南海トラフ巨大地震 (東西が同時期に発災した場合)
発災0日			
3日	備蓄3日分		
1週間	応援物資供給体制	備蓄 1週間分	
2週間		<div>実際は3日以上</div> 応援物資供給体制	備蓄 2週間分
			<div>物流が飽和し長時間を要するとの指摘あり</div> 応援物資供給体制



びちく ゆうせん じゅんい  
 備蓄の優先順位



トイレ



水



食べもの

た 食べなくても、みず 水があれば2～3週間は生きられます。

みず 水がないと、4～5日しか生きられません。

トイレは、はんいち 半日もがまん 我慢できません。

みず 水もないと、た 食べるのもや 止めるのでたお 倒れます。

電力  
 その他  
 人により  
 必要な物

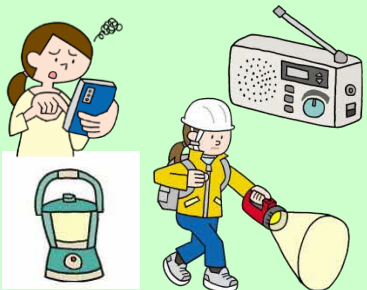

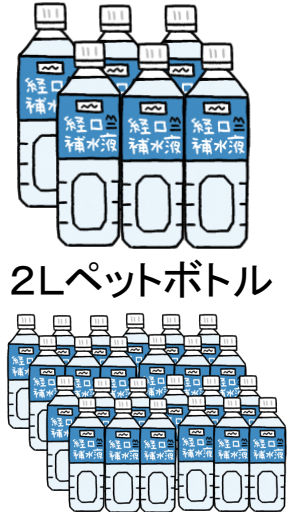




無いと困るもの






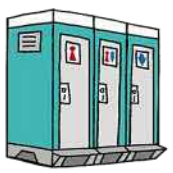

あった方が  
 よいもの



# 目標日数に応じた備蓄量(1人分の場合)

品目	トイレ	水(飲料水)	食料	電力
基準	1日 5回	1日 3L	1日 3食	使用する 機器による
3日	15回分	9L	9食	
1週間	35回分	21L	21食	
2週間	70回分	42L	42食	
	 凝固剤付き トイレ	 2Lペットボトル  500mlペットボトル		 乾電池  ソーラー パネル      モバイル バッテリー …など
			 工夫で 食糧費を 抑制 ↓  バーナー/コンロ ぜひ準備を！	

# 非常時のトイレについて

	① 	② 	③ 	④ 	⑤ 
方法	生活用水 利用による	非常用トイレ (凝固剤利用)		仮設 トイレ	マンホール トイレ
	普通の トイレ	普通の トイレ	特設 トイレ		
長所	既存の トイレが 使用可能	既存の トイレが 使用可能	設置 が容易	設置 が容易	既存の 下水道が 利用可能
短所	大量の水 が必要 (1回4~5L)	やや高価 1人10日(50回) 分で約5000円	椅子 の購入 が必要	大量調達 に時間 がかかる	改修工事が必要 (大竹市未対応)
	(地震等) 下水道破損時 使用不可	発災後入手困難(備蓄必須) ゴミ回収まで保管 異臭対策必須(BOS袋推奨)		異臭大 (汲取式)	(地震等) 下水道破損時 使用不可
個人への 適応度	×	◎	○	△	×

# 水の確保について

## 飲料水(飲める)

1~2年



個人備蓄

ペット水



3日程度

個人備蓄

水道水

新しいもの

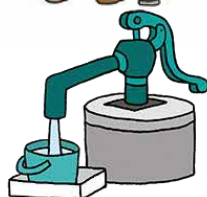
一般に言われる

最低3日分 9リッター(3L/日)

理想1週間 21リッター

～2週間 42リッター

とはこの部分です。

3日程度  
給水所の  
配給水  
(飲める)

井戸水の活用

風呂に  
ためた水水洗トイレ  
4~5L/回  
必要シャワー  
の代用湯煎調理  
で古い水を活用古くなったら  
生活用水に活用

個人備蓄

ペット水



個人備蓄

水道水

飲料以外に

生活には多くの水が必要です。

工夫すればより多くの水確保と  
節水ができます。

## 生活用水(飲めない)





# 必要な水の量



いんりょうすい

## 飲料水

せいかつようすい

## 生活用水



大人

1日



3L

3日



9L



子供



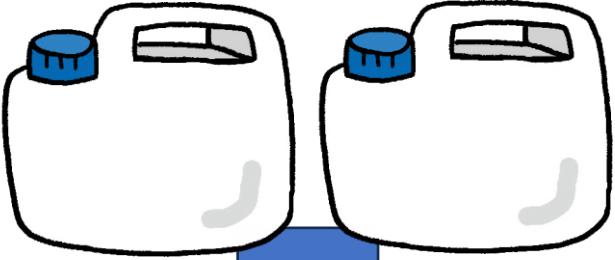
1.5L



4.5L

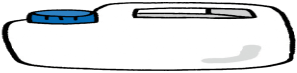
ふつうの生活

1人1日 20~80L



災害時の生活

1人1日 2~6L



工夫で水を節約

# 市販水の価格



保存期間	1年	市販価格
販売価格	2 L 6本入り	360～ 500円
	500mL 24本入り	900～1200円

保存期間	2年	市販価格
販売価格	2 L 6本入り	450～ 800円
	500mL 24本入り	900～1900円

保存期間	5年	市販価格
販売価格	2 L 6本入り	1300～1600円
	500mL 24本入り	2200～3000円

## 安価

大量確保に適

保存期間超過後

生活用水に応用可

## 高価

購入は個々の判断

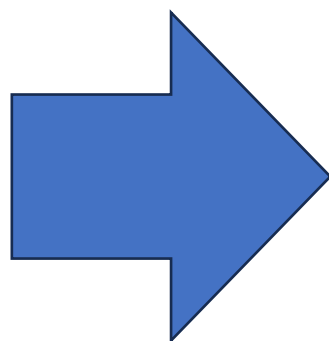
# ローリングストック



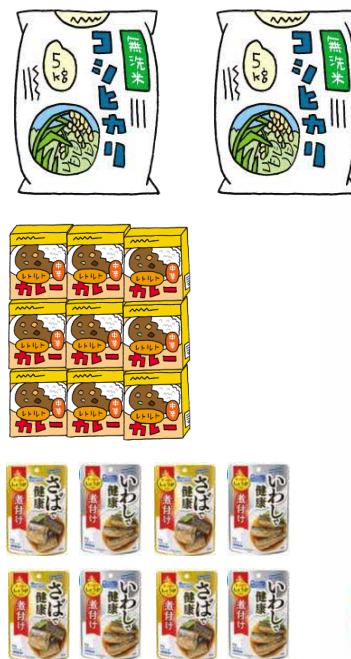
「ローリングストック」とは、普段の食品を少し多めに買い置きしておき、賞味期限を考えて古いものから消費し、消費した分を買い足すことで、常に一定量の食品が家庭で備蓄されている状態を保つための方法です。

災害用食料  
アルファ化米  
は高価！

1食400円



普段使いの食料  
多めに購入



ローリング  
ストックで  
低コスト



ローリング  
ストック



# ガス成分とCB缶の特徴

ガス成分	ブタン	イソブタン	プロパン
適応気温	4.5～9.5℃以上	-6～-1℃	-37～-32℃
気化熱	5～10℃		
沸点	-0.5℃	-11℃	-42℃
価格	安価		高価
備考	使捨てライター 安価なCB缶		高圧環境が必要 CB缶不向き

CB缶	使用 気温	ブタン	イソブタン	プロパン	販売店舗	実売価格
安価なもの	5～10℃以上	100%			100円ショップ スーパー	1本 100～ 150円 3本 300～ 450円
一般的なもの	0℃以上	70～100%	30～70%			1本 200～ 300円 3本 600～ 900円
高価なもの (氷点下用)	0℃以下		70～90%	30～5%	キャンプ 用品店	1本 400～ 500円 3本 1200～1800円

## 備蓄上の概算

作成:大竹市危機管理課

燃焼時間 強火(2,300kcalで)1本あたり約120分

⇒ 1回30分 1日3回使用した場合 1本で1.3日 1週間で6本使用



# 電池について

電池	長 所	短 所
単1 単2	○容量大	× 災害時 入手困難
単3 単4	○災害時 入手可能	× 容量小

## 単1・単2電池

- ・余裕ある備蓄を心がける
- ・単3・4を流用できる  
スぺーサーは効果的



スぺーサー

サ イ ズ	電池容量等		使用機器			持続力	災害時 入手しやすさ
	充電式 の例※1	乾電池 の例※2	ラジオ	ランタン	懐中 電灯		
単1	6,000mah	約130時間	・	○	○	◎	×
単2	3,200mah	約55時間	・	○	○	○	×
単3	1,900mah	約20時間	○	○	○	△	◎
単4	800mah	約8時間	○	○	・	・	○

※ パナソニック社製 エネループで比較

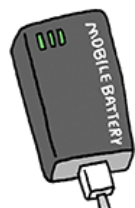
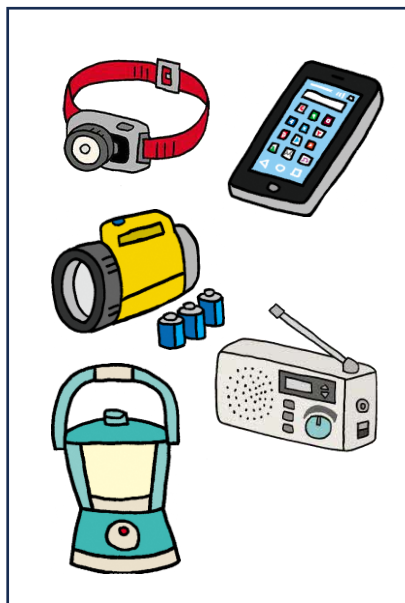
※ パナソニック社製 アルカリ電池を使用し0.9V、100mAで比較

# 発電機の必要性

電化製品  
充電問題

バッテリーでは  
電力に限りあり

バッテリーを  
充電する発電機  
は必須

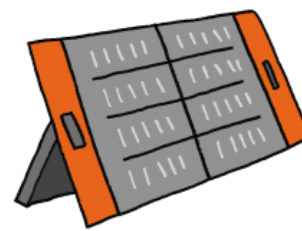


モバイル  
バッテリー



電池

ポータブル  
電源



ソーラー  
発電機



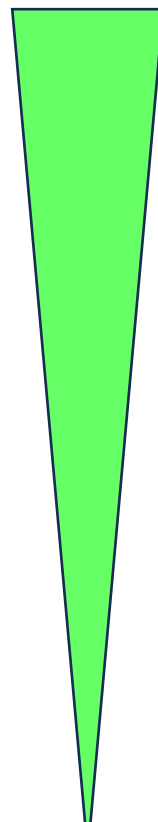
ガソリン  
発電機



カセット  
ボンベ  
発電機

# 避難に必要な準備

死ぬ  
危険性



	学校・出かけ先	自分の家	避難先
命を守る	①死なない 	②死なない 	
安全な 場所 へ行く	③家に帰るルート 	④出口までのルート 	とちゅう ⑤途中のルート 
避難生活 をする		ざいたくひなん ⑥在宅避難 	たちのきひなん ⑦立退避難 

出典：防災セットの基本！防災リュック・非常持出袋の種類と考え方  
[そなえるTV・高荷智也]

<https://www.youtube.com/watch?v=gzali0yAaY4>

売られている

ひなん

「避難リュック」の中身



# 避難場所・避難所



ひなんばしょ ひなんじょ ちが  
避難場所と避難所の違い



ひなんばしょ  
避難場所

かえ いえ ひと  
帰る家のある人が  
いえ かえ まつ ばしょ  
家に帰れるまで待つ場所

- 原則、食料や水はありません。  
いっばんてき こうえん だいがく
- 一般的に大きな公園や大学  
してい  
が指定されます。  
ひろしまけんない ふうすいがい おお
- 広島県は風水害が多いので  
やね つ たてもの おお  
屋根付きの建物が多いです。  
おおたけし おなじ  
大竹市も同じです。



ひなんじょ  
避難所

かえ いえ ひと  
帰る家をなくした人が  
かせつ じゅうたく  
仮設住宅ができるまで  
せいかつ ところ  
生活する所

- 水やトイレなどを備えています。  
みず そな  
いっばんてき しょうちゅうがっこう こうみんかん
- 一般的に小中学校や公民館な  
こうきょう しせつ してい  
どの公共施設が指定されます。  
おおたけし おなじ
- 大竹市も同じです。  
うんえい ひなんしゃ じぶん
- 運営は避難者が自分たちでし  
ます。



# 市の管理する避難場所

## 開設・運営：市職員が実施

### 開設のタイミング

自主避難者対応(状況に応じて開設)

⇒市役所(24時間)

総合市民会館(開館時間のみ)

避難場所開設(警戒レベル3以上)

⇒対象施設

第1次避難場所優先

状況により第2次を開設

※ 必要な地区のみに限定

### 【市が管理する緊急指定避難場所】

#### ◆第1次避難場所(市災害対策本部設置と同時に開設)

番号	名 称	電話番号	対応災害				
			土砂	高潮	洪水	地震	津波
1	大竹市総合市民会館 ※ペット同行可	53-6677	○	○	2階以上	△	2階以上
2	アゼリアおおたけ(大竹会館) 【大竹支部】 ※ペット同行可	52-4331	○	○	2階以上	○	2階以上
3	大竹市役所【小方支部】	59-2111	○	○	○	○	○
4	玖波小学校(校舎内)【玖波支部】	57-3101	○	○	○	○	○
5	阿多田漁村センター【阿多田支部】	53-7174	○	2階以上	○	○	×

※ペットはケージに入れ、飲食物や薬を持参し、健康管理やしつけがされ、飼い主が世話すること等が条件です。

詳しくは市ホームページ「ペットを連れて避難について」をご覧ください。

#### ◆第2次避難場所(災害の状況や規模に応じて順次開設)

番号	名 称	電話番号	対応災害				
			土砂	高潮	洪水	地震	津波
1	木野集会所【木野川手支部】	—	○	○	×	○	○
2	松ヶ原集会所【松ヶ原支部】	57-4808	○	○	○	○	○
3	農林振興センター【栗谷支部】	56-0301	○	○	2階以上	△	○
4	大竹小学校(校舎内)	—	○	○	2階以上	○	2階以上
5	サントピア大竹 (大竹市総合福祉センター)	53-8120	○	○	2階以上	○	2階以上
6	栄公民館	53-6688	○	○	2階以上	○	2階以上
7	小方小学校 小方中学校 (小方学園校舎内)	—	○	○	○	○	○
8	玖波公民館	57-7084	○	2階以上	○	×	2階以上
9	玖波中学校(校舎内)	—	○	○	○	○	○

【表の見方】『○』：避難できます。『×』：該当する災害では避難できません。

『△』：地震の場合は状況に応じて避難可否を判断します。

『2階以上』：避難できますが施設の2階以上に滞在してください。

※下線付は昨年度から  
変更した部分です。

### ペット同伴対応

総合市民会館・大竹会館

条件：現場が指定する部屋を使用する。

ゲージに入れる。

飲食物や薬を持参する。

健康管理やしつけがされている。

持ち主が世話をする。



# 他機関及び地域で管理する避難場所

## 【地域や他機関で管理する避難場所】

※他機関や自治会等地域の判断または市の要請で開設され、原則、市の職員は配置されません。

番号	名 称	電話番号	対応災害				
			土砂	高潮	洪水	地震	津波
1	大竹高等学校	5 2 - 4 3 2 5	×	○	○	○	○
2	コミュニティサロン栄町	5 3 - 7 2 8 0	○	○	×	○	×
3	弥栄ダム管理所	5 7 - 3 1 3 5	○	○	○	○	○
4	秀東館 若竹	—	○	○	2 階以上	○	○
5	阿多田島漁業協同組合	5 3 - 7 1 7 1	○	2 階以上	○	×	×
6	元町 4 丁目集会所	—	○	○	2 階以上	○	○
7	油見会館	5 2 - 4 8 5 7	○	○	2 階以上	×	2 階以上
8	木野二丁目集会所	—	○	○	×	○	○
9	立戸集会所	—	○	○	2 階以上	○	2 階以上
10	御園台自治会館	5 3 - 7 2 8 0	○	○	○	○	○
11	三ツ石会館	—	×	○	○	○	○
12	黒川会館	—	○	○	2 階以上	○	○
13	後飯谷公民館	—	×	○	○	△	○
14	前飯谷公民館	—	×	○	×	○	○
15	防鹿集会所	—	○	○	×	○	○
16	旧阿多田小学校体育館	—	×	○	○	○	○
17	海の家あたた	5 3 - 7 8 5 5	×	○	○	○	○
18	玖波 8 丁目集会所	—	○	○	○	○	○
19	後原集会所	—	×	○	×	○	○
20	谷尻集会所	—	×	○	○	○	○
21	広原公民館	—	×	○	○	○	○
22	谷和集会所	—	×	○	○	△	○
23	小栗林集会所	—	○	○	×	○	○

市職員：配置なし

大規模災害発生後  
自発的な避難所  
としても考慮



# 浸水時緊急退避施設

- 避難途中で津波や洪水などの浸水が目前に迫った場合に緊急一時的に退避するための施設
- × 地震や土砂災害の際の滞在先として使用するものではありません。

## 浸水時緊急退避施設

避難途中で津波や洪水などの浸水が目前に迫った場合に緊急一時的に退避するための施設で、地震や土砂災害の際の滞在先として使用するものではありません。

番号	名 称	電話番号	対応災害				
			土砂	高潮	洪水	地震	津波
1	ゆめタウン大竹	57-8000	—	○	○	—	○
2	大竹市第2期工業用水道管理棟	—	×	○	2階以上	—	○
3	サンホテル大竹	52-8810	—	○	2階以上	—	2階以上

※施設利用の際は、事前に施設管理者に連絡し、利用の旨を伝えること。また、利用の際は、施設のルールを遵守すること。

番号	名 称	電話番号	土砂	高潮	洪水	地震	津波
1	ゆめタウン大竹	57-8000	—	○	○	—	○
2	大竹市第2期工業用水道管理棟	—	×	○	2階以上	—	○
3	サンホテル大竹	52-8810	—	○	2階以上	—	2階以上

※施設利用の際は、事前に施設管理者に連絡し、利用の旨を伝えること。また、利用の際は、施設のルールを遵守すること。

番号	名 称	電話番号	土砂	高潮	洪水	地震	津波
1	ゆめタウン大竹	57-8000	—	○	○	—	○
2	大竹市第2期工業用水道管理棟	—	×	○	2階以上	—	○
3	サンホテル大竹	52-8810	—	○	2階以上	—	2階以上

※施設利用の際は、事前に施設管理者に連絡し、利用の旨を伝えること。また、利用の際は、施設のルールを遵守すること。

番号	名 称	電話番号	土砂	高潮	洪水	地震	津波
1	ゆめタウン大竹	57-8000	—	○	○	—	○
2	大竹市第2期工業用水道管理棟	—	×	○	2階以上	—	○
3	サンホテル大竹	52-8810	—	○	2階以上	—	2階以上

※施設利用の際は、事前に施設管理者に連絡し、利用の旨を伝えること。また、利用の際は、施設のルールを遵守すること。

番号	名 称	電話番号	土砂	高潮	洪水	地震	津波
1	ゆめタウン大竹	57-8000	—	○	○	—	○
2	大竹市第2期工業用水道管理棟	—	×	○	2階以上	—	○
3	サンホテル大竹	52-8810	—	○	2階以上	—	2階以上

※施設利用の際は、事前に施設管理者に連絡し、利用の旨を伝えること。また、利用の際は、施設のルールを遵守すること。

番号	名 称	電話番号	土砂	高潮	洪水	地震	津波
1	ゆめタウン大竹	57-8000	—	○	○	—	○
2	大竹市第2期工業用水道管理棟	—	×	○	2階以上	—	○
3	サンホテル大竹	52-8810	—	○	2階以上	—	2階以上

※施設利用の際は、事前に施設管理者に連絡し、利用の旨を伝えること。また、利用の際は、施設のルールを遵守すること。

番号	名 称	電話番号	土砂	高潮	洪水	地震	津波
1	ゆめタウン大竹	57-8000	—	○	○	—	○
2	大竹市第2期工業用水道管理棟	—	×	○	2階以上	—	○
3	サンホテル大竹	52-8810	—	○	2階以上	—	2階以上



緊急時連絡先

0120-590-131 (無料)

0827-59-2111

0827-59-2119

0120-590-131 (無料)

# 避難情報の入手方法

## 大竹市が発表

警戒  
レベル

避難情報

5

緊急  
安全確保

4

避難指示

3

高齢者等  
避難開始

## 大竹市は発表しない

自動 気象庁発表

2

大雨・洪水・高潮  
注意報

1

早期警戒情報

## 大竹市

## 発表方法

①防災  
行政無線  
(戸別受信機)②災害情報  
テレホン サービス③防災メール  
大竹市公式LINE

④ホームページ

⑤  
Lアラート⑤-1  
緊急速報メール  
エリアメール⑤-2  
テレビ情報

## 市民

## 入手方法

聴  
覚固定  
電話携帯  
電話スマ  
ホパソ  
コン地上波  
テレビ

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

# 大竹市 防災メール・公式LINE

## 配信区分

メール  
必須  
配信

### ① 防災情報

市災害対策本部設置 + 避難場所の開設  
避難に関する情報: 警戒レベル3・4・5  
災害時の注意喚起等

災害対策本部設置  
避難場所開設

メール  
任意  
選択

### ② 防犯・その他お知らせ情報

なりすまし詐欺などの防犯情報  
野生動物(熊・いのしし等)の出没注意情報  
行方不明者の搜索等

緊急速報メール  
エリアメール  
のみでも入手可能

### ③ 防災気象情報

メール  
必須  
配信

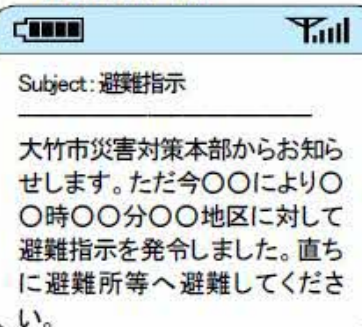
気象(特別)警報: 大雨、洪水、暴風、暴風雪、大雪、波浪、高潮  
土砂災害警戒情報、記録的短時間大雨警報、指定河川情報  
津波警報・大津波警報

メール  
任意  
選択

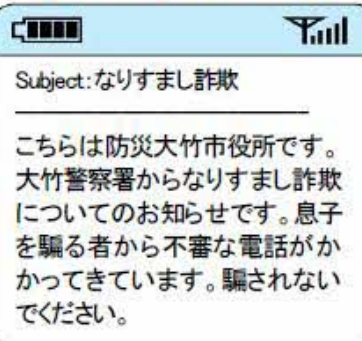
竜巻注意情報  
震度情報: 大竹市で震度4以上の地震  
津波情報

公式  
LINE  
全部  
配信

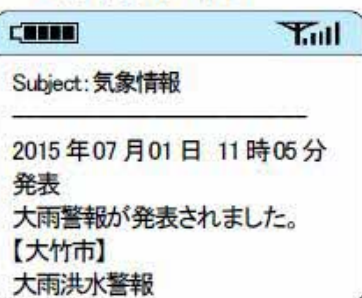
#### ▽防災情報の例



#### ▽防犯・その他お知らせ情報の例



#### ▽気象情報等の例





# 防災メール登録方法

令和7年4月11日 更新  
作成 大竹市危機管理課

69

## ①QRコード読込



## ②【送信】空メール (仮登録申請)

新規メッセージ

宛先: bousai.otake-city@raidan.ktai...

Cc/Bcc、差出人: fuelonsta@gmail.com

件名: 新規メッセージ

## ③【受信】仮登録完了 本登録申請の案内

メールサービス本登録のご案内

大竹市防災情報等メールサービス

メールサービスの仮登録が完了しました。  
まだ登録は完了していませんので、  
以下のURLから一週間以内に本登録を実施してください。

<https://raidan.ktaiwork.jp/service/otake-city/register?>

## ④選択

ユーザー情報登録

○メールアドレス  
fuelonsta@gmail.com

○配信情報 (複数選択可)  
[必須]  
☒ 大竹市防災情報  
☐ 防犯・その他お知らせ情報  
☒ 大竹市気象情報

次へ

## ⑧【受信】登録完了

メールサービス登録完了

大竹市防災情報等メールサービス への登録が完了致しました。

登録内容の変更・配信解除は次のリンク先にアクセスしてください。  
<https://raidan.ktaiwork.jp/service/otake-city/register/update?>

## ⑦(自動表示) 登録の完了

登録の完了  
以上で登録手続きは完了です。

## ⑥【送信】登録

設定内容の確認

次の内容でよろしければ「登録」を、再度編集する場合は「戻る」を選択してください。

○メールアドレス  
fuelonsta@gmail.com

○配信情報  
大竹市防災情報  
大竹市気象情報

○気象情報  
気象警報  
記録的短時間大雨情報  
土砂災害警戒情報  
津波警報  
小瀬川河川情報

戻る 登録

## ⑤選択

詳細設定

○気象情報の選択  
☒ 気象警報  
☒ 記録的短時間大雨情報  
☒ 土砂災害警戒情報  
☒ 津波警報  
☒ 小瀬川河川情報  
☐ 震度情報 (震度4以上)  
☐ 津波情報  
☐ 竜巻注意情報

戻る 次へ

③・⑧の【受信】ができない場合  
スマホ・携帯電話の迷惑メールを解除し  
otake-city@raidan.ktaiwork.jp  
からのメールを受信してください。

大竹市  
Otake City

ホーム 手続き 教育・学び 医療・福祉

⇒ イベントを探す ⇒ 募集を探す ⇒ 施設を探す ⇒ 組織から探す キーワード検索

現在の位置 ➤ ホーム ➤ 組織から探す ➤ 総務部 ➤ 企画財政課 ➤ 業務案内 ➤ 広報・広聴  
➤ 大竹市LINE公式アカウントを開設しました

### 大竹市LINE公式アカウントを開設しました

大竹市では、大竹市LINE公式アカウントを開設しました。友だち登録すると、大竹市のイベント情報やくらしの情報、防災情報などをいち早く入手することができます！

防災無線放送が聞こえにくい場合など、放送内容が速やかに確認できるので便利です。



大竹市 LINE 公式アカウント 始めました!

#### ■ アカウント情報

アカウント名：広島県大竹市  
LINE ID: @otakecity

#### ■ LINEに友だち追加する方法

##### 1. 「QRコード」から追加する

LINEアプリホーム画面の「友だち追加」アイコンをタップし、「QRコード」アイコンをタップして、下記のQRコードを読み取り、表示されたリンクアドレスをタップして、表示された「広島県大竹市」アカウントの「追加」をタップしてください。

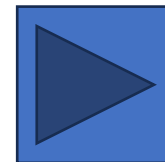


##### 2. LINEホーム画面から検索する

LINEアプリホーム画面の「検索」欄に、「広島県大竹市」と入力して検索し、表示された「広島県大竹市」アカウントの「追加」をタップしてください。

##### 3. 友だち検索から追加する

LINEアプリホーム画面の「友だち追加」アイコンをタップし、検索アイコンをタップして表示された「友だちのID検索」欄に「@otakecity」を入力して検索し、表示された「広島県大竹市」アカウントの「追加」をタップしてください。



# 避難場所・避難所の開設状況の確認方法

R7年県WEB変更

## ① 広島県防災WEBを開く



広島県防災Web

ホーム マップ データ Language メニュー

2025年08月10日 19:18 [8月10日夜からの大雨に注意してください](#)

2025年08月11日 10:22 [避難所が開設されています。](#)

2025年08月11日 09:00 [避難情報が発令されています。](#)

避難した地域の情報を

大竹市

の現在の状況

警戒レベル3相当

場所から高齢者等は避難を判断

避難情報

甘日市 Hatsuoka City

大竹市 Onoda City

島田市 Shimada City

三田市 Mita City

三原市 Mihara City

大竹市 Onoda City

三田市 Mita City

三原市 Mihara City

島田市 Shimada City

甘日市 Hatsuoka City

マップを見る

出典: MapLibre | © MIERUNE | © MapTiler | © OpenStreetMap contributors

## ② 市町名を選択

## ④ アイコンの色で混雑状況確認

避難所凡例

空いている

やや混雑

混雑

定員一杯

空き状態不明

避難情報

凡例

熊野東ふれあい館

2025-08-11 10:00:00 更新

空き状況

空き

避難世帯数、避難者数

0世帯、0人 (最大収容人数160人)

開設避難

2 km

避難情報

防災気象情報

## ⑤ 「避難場所」を選択して個々の状況を確認



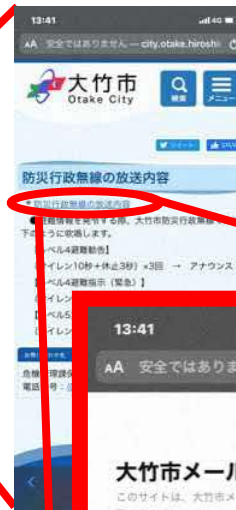
「大竹市緊急避難場所・指定避難所一覧」

ホームページ:防災メールの内容を過去にさかのぼって確認できる

**緊急時連絡先**

- 災害時緊急電話 … 災害時に災害対策本部へ通報や連絡を行う緊急番号  
0827-57-7120
- 大竹市役所代表 … 夜間・休日などのお問い合わせ  
0827-59-2111
- 大竹市危機管理課 … 通常時の防災に関する相談・お問い合わせ  
0827-59-2119
- 災害情報テレホンサービス … 防災行政無線の放送内容を電話で聞けます  
0120-590-131 (無料)
- 防災情報ホームページ  
防災行政無線の放送内容をホームページで確認できます  
<http://otake-city.site.ktaiwork.jp/>

ホームページQRコード



**大竹市メール配信サービス**

このサイトは、大竹市メール配信サービスで配信された情報が閲覧できます。

ホーム 登録方法 大竹市ホームページ

**消防団秋季出動訓練に伴うサイレン吹鳴について**

投稿日時: 2020年11月6日 投稿者: otakecityuser

【令和2年11月8日午前6時50分の防災無線放送内容】  
こちらは、大竹市消防団大竹市役所です。  
消防署からのお知らせです。  
本日、消防団秋季出動訓練のため、午前7時にサイレンを吹鳴します。  
災害ではありませんので注意して下さい。

カテゴリ: 未分類

**【訓練】防災行政無線を使用した全国一斉緊急地震速報訓練放送の実施について**

投稿日時: 2020年11月5日 投稿者: otakecityuser

**●防災情報ホームページ**

防災行政無線の放送内容をホームページで確認できます

<http://otake-city.site.ktaiwork.jp/>



令和5年度版  
～QRコードで簡単にスマホ表示



# Yahoo! 防災速報とは

スマホ防災アプリ(無料)

73

出展: <https://emg.yahoo.co.jp/>

令和7年2月20日 追加

**YAHOO! JAPAN 防災速報**

災害から命を守る  
ヤフーの防災アプリ

ひとりひとりに合った情報をお届け  
**Yahoo!防災速報**

6000万ダウンロード突破!

App Store からダウンロード  
iOS 16~対応

Google Play でダウンロード  
Android 7~対応

QRコード

防災情報通知  
災害マップ  
防災手帳

②

**災害マップ**

ユーザー同士で状況を共有でき  
どんな災害がどこまで迫っているかがわかります

ユーザーによる  
状況の共有

ライフラインの  
供給情報

報道メディア・NPO等  
連携パートナーによる投稿



①

**防災情報通知**

さまざまな防災情報を迅速にプッシュ通知  
早め早めの行動判断をサポートします

現在地と国内3地点まで  
設定可能

緊急地震速報など  
さまざまな情報に対応

「防災タイムライン」で  
備えや行動を確認できる

③

**防災手帳**

防災で一番大切な普段の備えから  
災害で困ったときに役に立つ情報を幅広く掲載

避難場所リスト

ハザードマップ

緊急連絡先

防災用品

困ったときは

Yahoo! 防災速報とは

## ① 防災情報通知

さまざまな防災  
情報を迅速に  
プッシュ通知

早め早めの行動  
判断をサポートし  
ます。

緊急地震速報  
津波警報など  
はここです。



防災情報通知

さまざまな防災情報を迅速にプッシュ通知  
早め早めの行動判断をサポートします



現在地と国内3地点まで  
設定可能



緊急地震速報など  
さまざまな情報に対応



「防災タイムライン」で  
備えや行動を確認できる

Yahoo! 防災速報とは

## ② 災害マップ

ユーザー同士で  
状況を共有でき  
どんな災害がど  
こまで迫っている  
かがわかります。



### 災害マップ

ユーザー同士で状況を共有でき  
どんな災害がどこまで迫っているかがわかります



ユーザーによる  
状況の共有



ライフラインの  
供給情報



報道メディア・NPO等  
連携パートナーによる投稿

### ③ 防災手帳

防災で一番大切な普段の備えから、災害で困ったときに役に立つ情報を幅広く掲載しています。



## 防災手帳

防災で一番大切な普段の備えから  
災害で困ったときに役に立つ情報を幅広く掲載



**避難場所リスト**



**ハザードマップ**



**緊急連絡先**



**防災用品**



**困ったときは**







# 実際に触ってみましょう

77

令和7年2月20日 追加

**YAHOO! JAPAN** 防災速報



## 災害から命を守る ヤフーの防災アプリ



ひとりひとりに合った情報をお届け  
**Yahoo!防災速報**

6000万ダウンロード突破！



自分のスマホで  
QRコードを  
読み取り起動



防災情報通知



災害マップ



防災手帳

# 避難の呼びかけ体制

# 呼びかけ体制



令和2年度～ 広島県が各市町と共同で推進中の事業  
平成30年7月豪雨の教訓に基づき、住民に**早めの避難を促す**ため、呼びかけを開始するタイミングや、呼びかけ方法などのルールを決めて、**自主防災組織**が大雨災害に対して、**効率的で効果的な**呼びかけを行う**仕組み**

呼びかけ体制づくりは、次に示す5つのステップを基本として進めていきます。



**ステップ  
アップ訓練**  
大竹独自の  
訓練方法

大竹市  
独自

防災基礎  
講習

地域防災タイムライン  
組織作り指導

情報伝達  
(避難)訓練

振返り

①個別  
相談指導

②個別研修

③呼びかけ訓練

呼びかけ体制

## ステップアップ訓練

令和7年度  
要領変更

6月：希望調査（各自主防災組織会長宛に送付）

7月：希望回答（自主防災組織毎に回答）

2巡目～  
繰り返し  
希望選択

- ④ 補助金（最大2.5万円）
- ③ 呼びかけ訓練

② 個別研修

原則  
ステップの省略  
はできません。1巡目  
希望選択

- ④ 補助金（最大10万円）
- ③ 呼びかけ訓練
  - ・実践
  - ・検証

② 個別研修
 

- ・基礎知識の習得
- ・訓練方法の検討

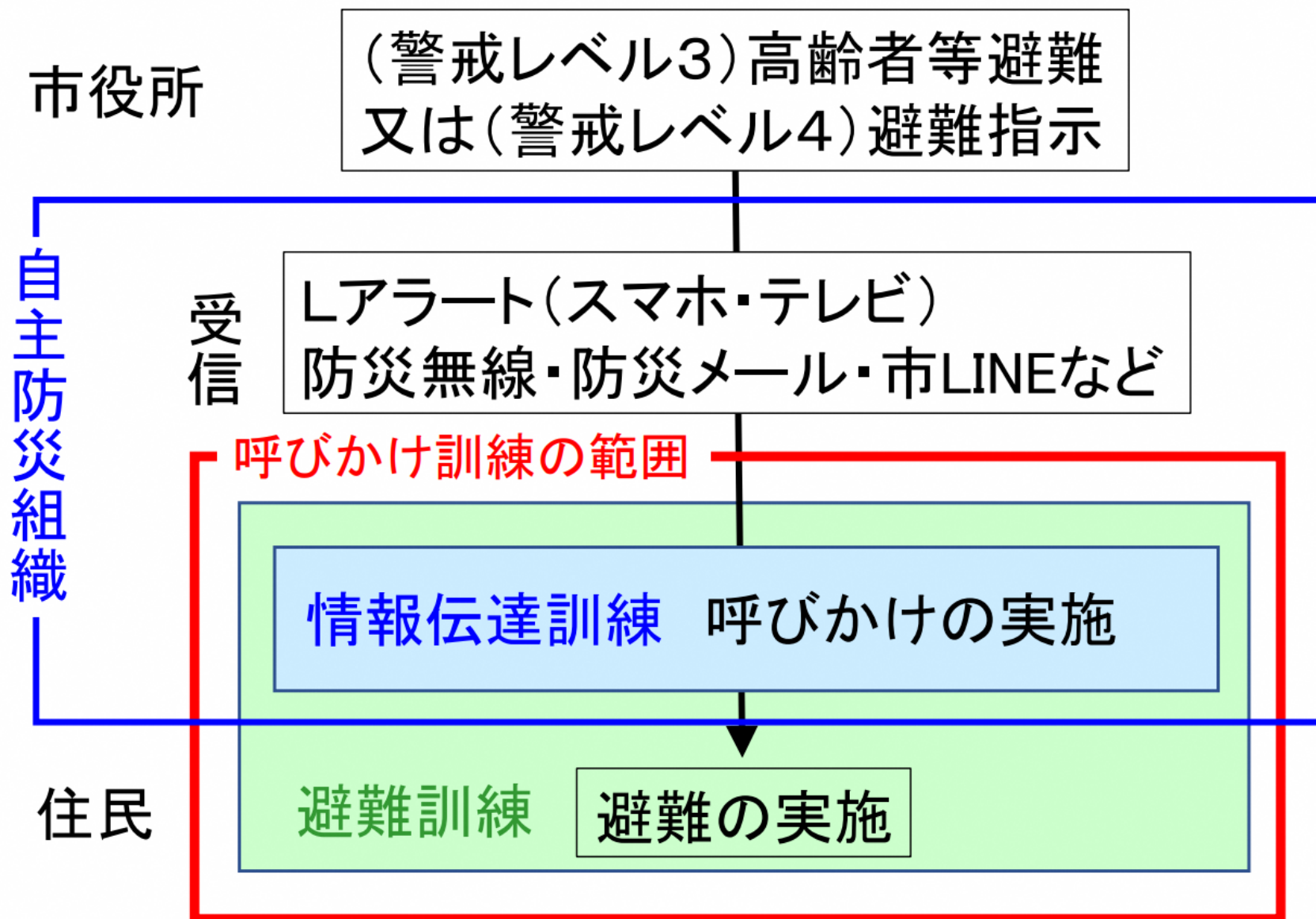
① 個別相談指導
 

- ・疑問解消
- ・方針の決定

一旦終了  
次年度再検討一旦終了  
次年度再検討



# (土砂・洪水)呼びかけ訓練の範囲



# (地震・津波ケース1)呼びかけ訓練の基本的な流れ

政府  
気象庁

南海トラフ地震臨時情報  
(巨大地震警戒(又は注意))発表

受信

スマートホン(政府発信)  
市防災メール・市LINE(市役所発信)  
テレビ(政府発信)

呼びかけ訓練の範囲

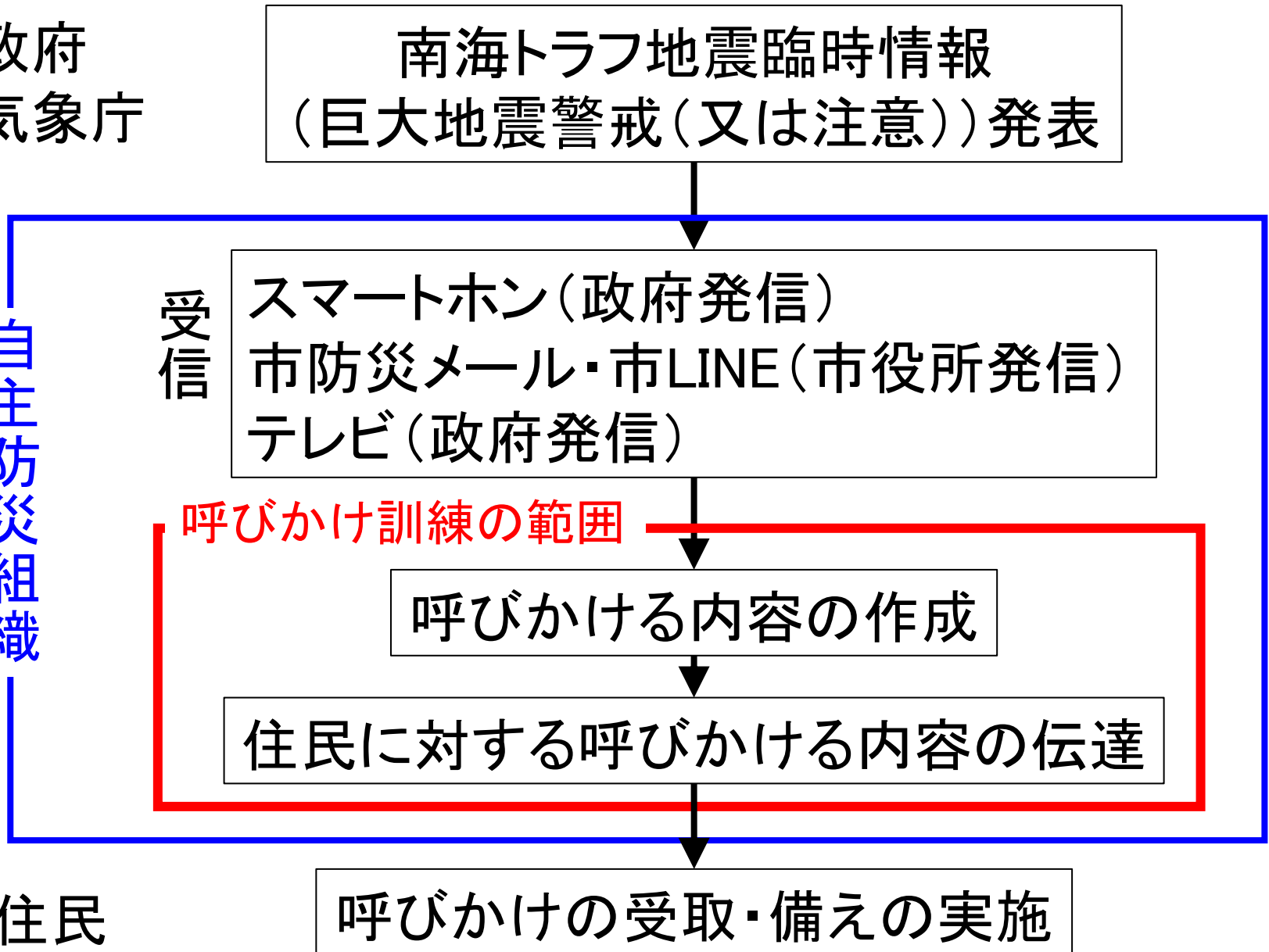
呼びかける内容の作成

住民に対する呼びかける内容の伝達

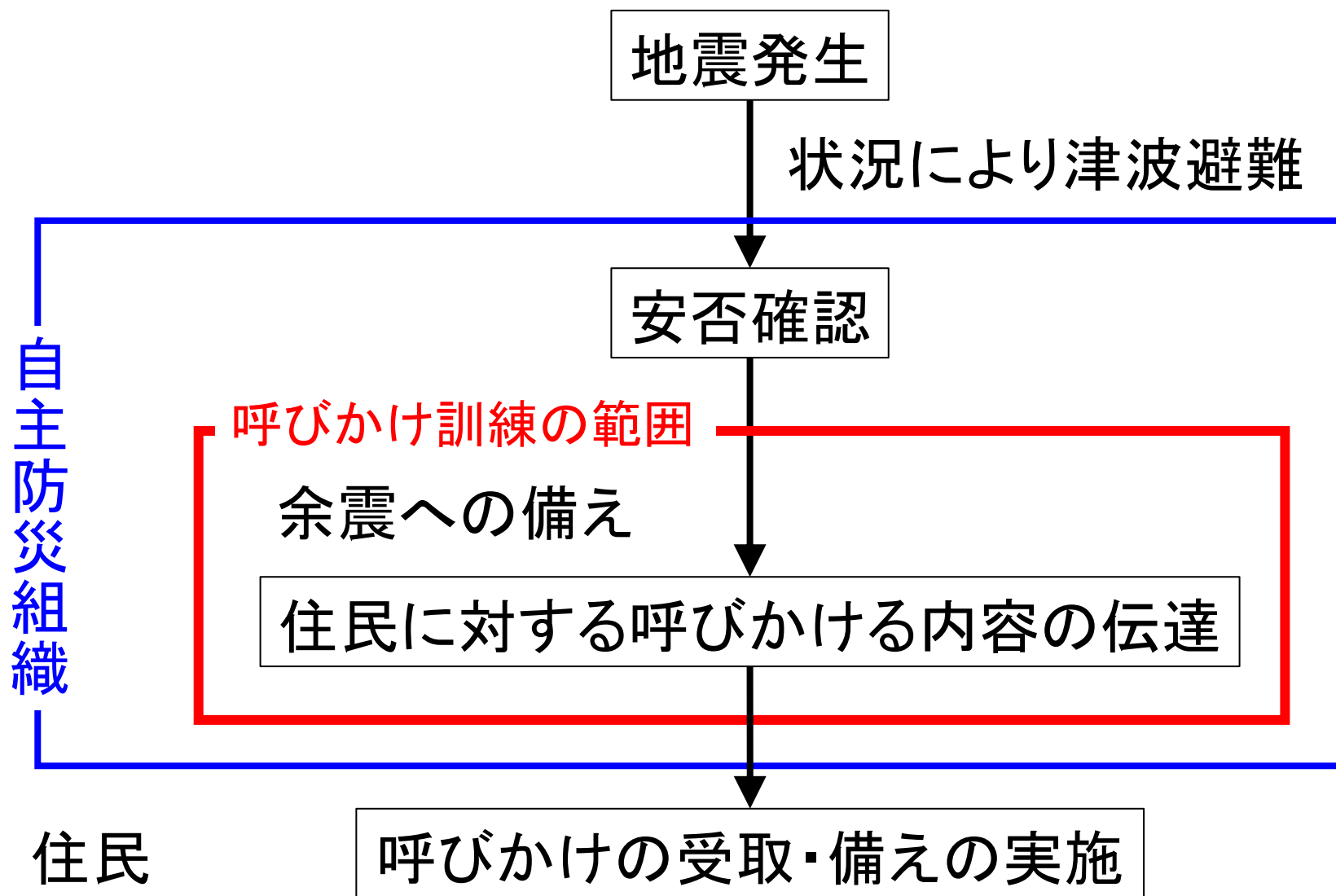
自主防災組織

住民

呼びかけの受取・備えの実施



# (地震・津波ケース2)呼びかけ訓練の基本的な流れ



# 予備資料